

司法省第三年報

明治十年

司法研究室

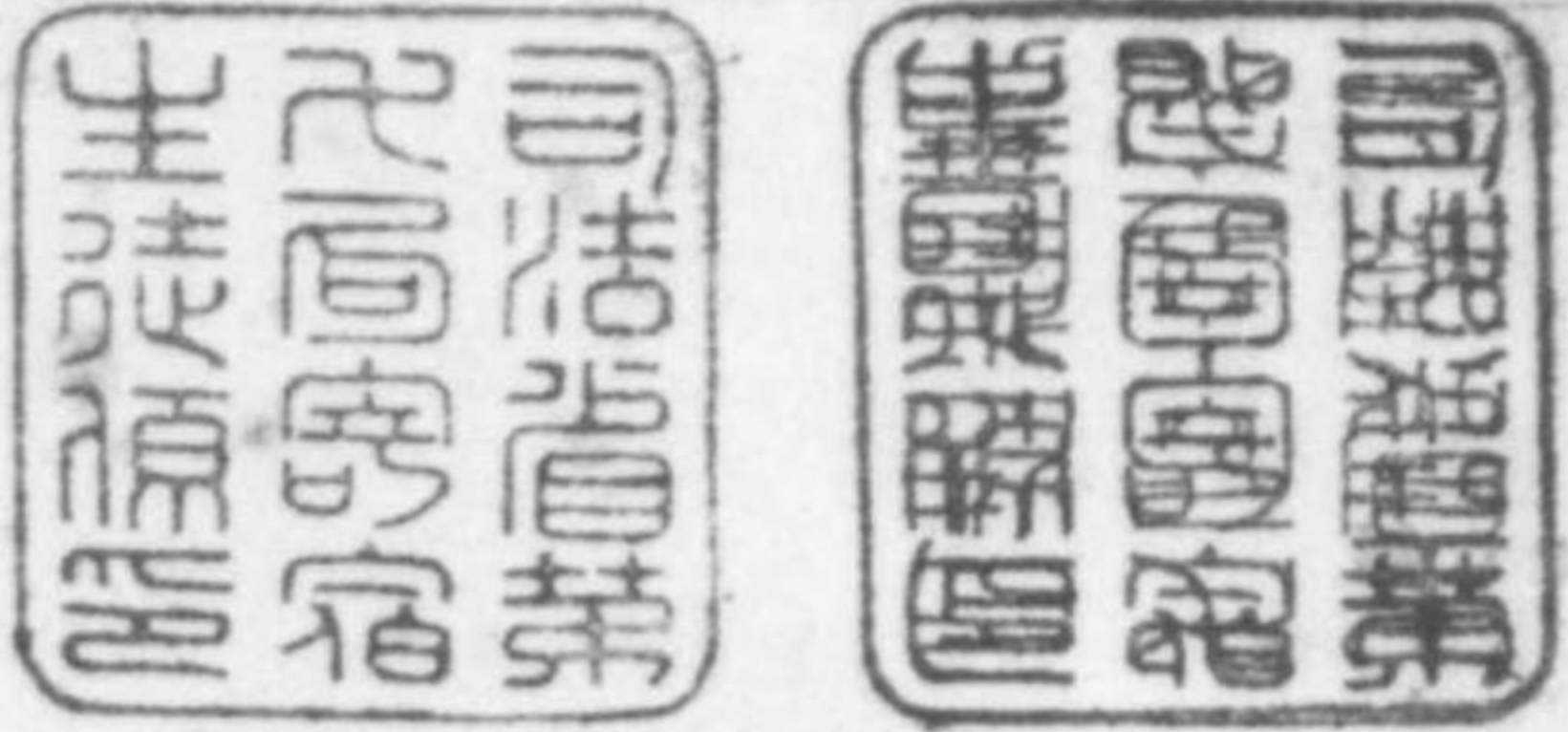
昭和13年
第8日號本

司法省記錄文庫
第百八十三號

第一一號
第一四架
第一一號

司法省記錄文庫
第一三號

H500
S 1
7



本省報告書ノ遷延セシ所以ノ者第二年报申奏書中謂フ所ノ如ク己ムヲ得サルノ事故アルヲ以テナリ爾來勉今又第三年报編成功ヲ竣フ然ルニ右兩書中編入スル所ノ民事刑事綜計表ハ其事理ヲ盡サ、ル者多シ此レ兩三年前既ニ調理スル所ニ係ルヲ以テ今遽カニ改ムヘカラサルニ由ル將ニ第四年报ノ編成ニ至テ大ニ更正スル所アラントス謹奏

明治十四年十二月

司法卿大木喬任

凡例

- 一 此書分テ三編ト爲ス曰ク本省處務概畧曰ク民事綜計要旨民事綜計表曰ク刑事綜計要旨刑事綜計表而シテ本省處務概畧ハ會計年度ニ從ヒ民事刑事ノ綜計ハ曆ニ從フ等一ニ第二回報告書ノ例ニ倣フ
- 一 表紀ニ係ル者ハ數字ヲ以テ之ヲ記シ、ヲ加ヘテ以テ千位ヲ分ツ而シテ金ハ圓位穀ハ石位ニ亦之ヲ附ス其〇ヲ附スル者ハ零數ナリ
- 一 第二編第十一表第十二表中「他廳ヨリ受ル」他廳ヘ移ス「ハ重複ノ數トナル故ニ實數ヲ看ント欲セハ重複ノ數ヲ除算セサルヘカラス
- 一 第三編第一表ヨリ第四表ニ至ル犯罪合計ハ婦女犯罪及ヒ贖罪收贖閏刑モ亦之ヲ本刑中ニ加ヘ都テ之ヲ合算ス而シテ大審院外三裁判所九州臨時裁判所ニ於テ處斷シタル國事犯罪熊本裁判所ニ於テ特別ニ處斷シタル者及ヒ清國在留領事館ニ於テ處斷シタル者ハ第一表中ニハ合算セス
- 一 同第七表ノ全員合計ハ第一表ノ全免減等無科呵責ノ三項ヲ除キタルモノナリ
- 一 同第十表ノ犯則全員ハ婦女モ合算ス
- 一 同第二十四表中雇人ノ數ハ戶籍屆濟ノ者ノミニ係ル故ニ雇人盜ノ實數ト

吻合セス

一同第五十二表中處分濟ノ人員ハ第一表第十表第四十六表第四十八表ノ人員中ヨリ大審院各上等裁判所及琉球藩ノ處分ニ係ルモノト第四十六表中不論罪人員ヲ除ケハ其數宜シク吻合スヘキモノタリ然ルニ其吻合セサル所以ノモノハ第五十二表處分濟人員中重複或ハ消滅ニ屬スルモノ等アルニ由ル

司法省第三回報告書目次

第一編

處務概畧

法律

裁判所廢置附管轄

職員附雇外國人

法學専門生徒

恩赦特典

國事犯及ヒ人民ヨリ官府ニ對スル詞訟

華族及ヒ奏任官犯罪處分附喚問

經費附土木

書籍附翻譯編纂表式

代言人

第二編

民事綜計要旨

大審院事務

上等裁判所事務
地方裁判所事務
身代限
勸解

民事綜計表

- 第一表 上告總數
- 第二表 上告結局時間
- 第三表 上告結局區別
- 第四表 上告訴訟種類
- 第五表 控訴及ヒ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟總數
- 第六表 控訴及ヒ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟結局時間
- 第七表 人民ヨリ官府ニ對スル訴訟種類
- 第八表 控訴種類
- 第九表 控訴及ヒ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟結局區別
- 第十表 控訴ノ原裁判所
- 第十一表 初審ノ訴訟總數

- 第十二表 初審ノ訴訟種類
- 第十三表 各地方裁判所ニ區別シタル訴訟種類
- 第十四表 前表ノ要畧
- 第十五表 各支廳訴訟ノ數
- 第十六表 各區裁判所訴訟ノ數
- 第十七表 外國人關涉訴訟種類
- 第十八表 外國人關涉訴訟結局區別
- 第十九表 各裁判所ニ區別シタル外國人關涉訴訟結局區別
- 第二十表
 - 其一 大審院上等裁判所訴訟中金圓ニ關スル件數及ヒ金員階級
 - 其二 地方裁判所訴訟中金圓ニ關スル件數及ヒ金員階級
- 第二十一表 身代限總數及負債額償還額ノ比例附外國人關涉ノ身代限
- 第二十二表 勸解總數

第三編

刑事綜計要旨

罪犯ノ總數及處斷區別

犯則人員ノ總數及處斷區別

罪犯男女、生國、年齡、種族、職業、宗門ノ區別

死罪ニ該ル者ノ罪狀刑名

減等處刑

數度受刑及加等處刑

數罪俱發及滯獄日數本罪内ニ算入

瘋癲人、犯罪存留養親、外國人關涉、清國人處刑

懲役限内加等、減等區分

大審院各裁判所事務景況

拘留時間區別

國事犯處分

附熊本裁判所特別處斷常事犯、清國在留領事廳常事犯處分

刑事總計表

第一表 犯罪ノ種類

其一 人ニ對スル犯罪種類

其二 物ニ對スル犯罪種類

第二表 各廳ニ區別シタル犯罪ノ數

第三表

其一 各廳ニ區別シタル人ニ對スル犯罪種類

其二 各廳ニ區別シタル物ニ對スル犯罪種類

第四表 各廳ニ區別シタル人ニ對スルト物ニ對スルトノ犯罪總數

第五表 婦女ノ犯罪種類

第六表 各廳ニ區別シタル婦女犯罪ノ數

第七表 罪犯處斷區別

第八表 各廳ニ區別シタル罪犯處斷區別

第九表 各廳處斷中贖罪、收贖、閏刑ノ數

第十表 犯則種類

第十一表 各廳ニ區別シタル犯則種類

第十二表 各廳ニ區別シタル犯則罰名

第十三表 婦女ノ犯則種類

第十四表 各廳ニ區別シタル婦女ノ犯則種類

第十五表 各廳ニ區別シタル婦女ノ犯則罰名

- 第十六表 犯罪人ノ貫籍
- 第十七表 各廳ニ區別シタル犯罪人ノ貫籍
- 第十八表 婦女ノ貫籍
- 第十九表 各廳ニ區別シタル婦女ノ貫籍
- 第二十表 犯罪人ノ年齢、種族
- 第二十一表 各廳ニ區別シタル犯罪人ノ年齢、種族
- 第二十二表 婦女ノ年齢、種族
- 第二十三表 各廳ニ區別シタル婦女ノ年齢、種族
- 第二十四表 犯罪人ノ職業
- 第二十五表 各廳ニ區別シタル犯罪人ノ職業
- 第二十六表 婦女ノ職業
- 第二十七表 各廳ニ區別シタル婦女ノ職業
- 第二十八表 犯罪人ノ宗門
- 第二十九表 各廳ニ區別シタル犯罪人ノ宗門
- 第三十表 婦女ノ宗門
- 第三十一表 各廳ニ區別シタル婦女ノ宗門

- 第三十二表 死罪者ノ犯罪種類
- 第三十三表 死罪者ノ刑名、履歴、減等
- 第三十四表 各廳ニ區別シタル死罪者ノ犯罪種類
- 第三十五表 犯罪人ノ減等
- 第三十六表 各廳ニ區別シタル犯罪人ノ減等
- 第三十七表 犯罪ノ度数及ヒ犯數
- 第三十八表 犯罪人加等ノ刑名
- 第三十九表 各廳ニ區別シタル犯罪ノ度数及ヒ犯數
- 第四十表 二罪以上俱發及ヒ滯獄曠過
- 第四十一表 二罪以上俱發及ヒ滯獄曠過者ノ本刑
- 第四十二表 各廳ニ區別シタル二罪以上俱發及ヒ滯獄曠過
- 第四十三表 瘋癲人及存留養親、外國人關涉、清國人處刑、死後刑名宣告ノ犯罪種類
- 第四十四表 瘋癲人及存留養親、外國人關涉、清國人處刑、死後刑名宣告ノ各本刑
- 第四十五表 各廳ニ區別シタル瘋癲人及存留養親、外國人關涉、清國人

處刑、死後刑名宣告

第四十六表

役限増加ノ總數

第四十七表

各廳ニ區別シタル役限増加ノ數

第四十八表

役限内減等ノ總數

第四十九表

各廳ニ區別シタル役限内減等ノ數

第五十表

大審院取扱件數、人員ノ總數

第五十一表

上等裁判所取扱件數、人員ノ總數

第五十二表

其一 地方裁判所取扱事件ノ總數

其二 地方裁判所取扱人員ノ總數

第五十三表

其一 各支廳區裁判所取扱事件ノ總數

其二 各支廳區裁判所取扱人員ノ總數

第五十四表

罪囚拘留時間

第五十五表

各廳ニ區別シタル罪囚拘留時間

第五十六表

大審院東京臨時裁判所及東京弘前兩裁判所ニ於テ處斷

シタル國事犯罪種類及種族、貫籍、年齡、職業、宗門

第五十七表

其一 同上各廳ニ區別シタル種族、貫籍

其二 同上各廳ニ區別シタル年齡、職業、宗門

第五十八表

其一 同上滯獄曠過ノ數

其二 同上減等ノ數

第五十九表

九州臨時裁判所ニ於テ處斷シタル國事犯罪種類及種族、貫籍、年齡

第六十表

同上減等ノ數

第六十一表

熊本裁判所ニ於テ處斷シタル暴動人ノ犯罪種類及種族、貫籍、年齡、職業、宗門

第六十二表

同上處斷區別

第六十三表

清國領事館ニ於テ處斷シタル犯罪人ノ數及ヒ犯罪種類、貫籍、年齡、職業

司法省第三回報告書

第一編

處務概畧

法律

十年四月上申シテ曰ク實印ヲ重ニスルハ從來ノ風習ナリト雖モ偽造或ハ盜押ノ類アリテ權利財産ヲ害セラル、者少カラス故ニ自署法ヲ併用シテ其弊ヲ矯正スル、目今ノ急務ナリト同年七月第五十號ノ布告アリ曰ク諸証書ノ姓名ハ必ス本人自ラ書シテ實印ヲ押スヘシ自書スル、能ハサル者ハ他人ヲシテ代書セシムルヲ得ルト雖モ必ス其實印ヲ押スヘシ其代書セシ者ハ本人姓名ノ傍ニ其代書セシ事由ト已レノ姓名トヲ記シテ實印ヲ押スヘシト同年九月又制旨アリ曰ク銀行ヨリ發行スル當坐預金受取証書振出手形爲換手形ノ三種ニ限り自筆姓名ヲ彫刻シ自身ニ之ヲ押捺シ且加印スヘキ旨大藏省ヘ指令セラレタリト乃チ同年十月丁第七十八號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス

同年五月上申シテ曰ク府縣廳ノ喚出ヲ受ケ故ナクシテ遲忝不忝スル者ハ本年第五號布告ニ依リ裁判所ノ召喚ニ應セサル者ト同ク五錢以上十圓以下ノ

罰金ヲ科セント同年七月裁令アリ曰ク本年第十三號各府縣ヨリ布達スル所ノ條規ニ違犯スル者ハ裁判官ニ於テ直ニ一圓五十錢以内ノ罰金ヲ科スヘシトノ布告ニ照準シテ處分スヘシト乃チ同年八月丁第五十七號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス

同月上申シテ曰ク八年第百四十八號布告建物書入質入規則第三條五條ニ從ヒ既ニ公証ヲ得タリト雖モ同規則第二條ノ手續ヲナサ、レハ金銀借用証文ト看倣スハ不都合ナルヲ以テ第二條ヲ刪除セラルヘシト同年八月第六十號ノ布告アリ曰ク建物書入質入規則第二條中(若シ此手續ヲ爲サ、ル時ハ建物買受ノ効ナキニ付建物ノ代價ヲ受取リタル旨ヲ記シタル賣渡証文ト看倣ス讓受ヘシ)ノ六十字ヲ刪除スト

同月上申シテ曰ク一タヒ大審院ノ裁判ヲ經タル者再ヒ訴フルトヲ許サ、ルハ現今ノ成規ナリト雖モ訟獄ハ一日ヨリ多ク其情千狀萬態ナルヲ以テ一々其情ヲ得テ其實ヲ誤ラサルト難シ故ニ自今大審院ノ裁判ヲ經タル者ト雖モ司法卿不當ノ判決ナリト認ル片ハ檢事ヲシテ再審ヲ求メシムルトヲ得ント同年七月第四十九號ノ布告アリ曰ク民事刑事ノ上告シテ已ニ裁判ヲ經タル者司法卿其裁判ヲ允當ナラスト思量スル者アル片ハ檢事ヲシテ再審ヲ求

メシムルトヲ得ヘシト

同年六月上申シテ曰ク華士族ノ家祿ハ金祿公債証書ヲ以テ付與セラル、旨布告セラレタルヲ以テ收祿律ノ廢否モ公布セラルヘシト同年八月第五十八號ノ布告アリ曰ク明治九年第百八號布告ヲ以テ祿制廢セラレ候ニ付テハ明治十年一月以降律例中收祿并ニ功俸賞祿追奪ノ儀ハ總テ廢セラレタリト乃チ同年九月丁第六十八號ヲ以テ本年一月以降各廳ニ於テ收祿ノ處分ヲ爲シタル者ハ右布告ノ趣旨ニ依リ速ニ改正スヘキ旨諸裁判所ニ達ス

同月上申シテ曰ク勅奏官位及華族ノ犯罪ト雖モ其推問等本人ノ出廷ヲ要セサル事件ニ限り刑名ヲ奏請セス直ニ處斷スルモ優待ノ趣旨ニ戾ルトナク而シテ實際多少ノ便宜アラント同年七月達アリ曰ク勅奏官位及華族ノ犯罪贖罪ニ該ル者又ハ諸規則ニ觸レ罰金或ハ科料ニ處ス可キ者ニシテ其推問本人ノ出廷ヲ要セサル事件ニ限り刑名上請スルニ及ハス直ニ處斷スヘシト乃チ同月丁第五十二號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス

同月上申シテ曰ク各人契約ノ証書動モスレハ疎漏ニ流レ訴訟トナルニ及ンテ契約ノ趣旨目的明瞭ナラサル者往々ニシテ之アリ裁判官タル者亦特リ其文詞ニ拘泥シテ契約ノ趣旨ヲ誤リ或ハ文詞ノ曖昧ナル者ハ概シテ無効トナ

スカ如キノ弊ナシトセス是ヲ以テ豫メ其解釋方法ヲ稟議シ時宜ニ依リ裁判官ニ示サント同年七月裁可ヲ得タリ同十月丁第七十五號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス

同年七月丁第四十九號ヲ以テ地所賣買ノ証アル者ハ地券書換ヲ爲サスト雖モ賣買ノ効アリトノ裁令ヲ經テ熊谷裁判所三重縣へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所ニ達ス

同月丁第五十號ヲ以テ熟議調フタル養子離縁ヲ聞届クルハ行政官ニ在リト雖モ其熟議調ハサル争ヲ裁制スルハ裁判所ノ權ナリトノ裁令ヲ經テ名古屋裁判所へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所ニ達ス

同月丁第五十一號ヲ以テ身代限ノ際財産ヲ隱匿脱漏スル等ノモノハ詐偽取財ヲ以テ處斷スヘシトノ裁令ヲ經テ東京裁判所ニ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所ニ達ス

同月上申シテ曰ク本年第五十號ヲ以テ諸証書ノ姓名ハ必ス本人自ラ書シテ實印ヲ押スヘシトノ布告ハ單ニ証書トアルヲ以テ官署ノ証書モ包含スルノ疑問ヲナスモノアリ然ルニ當時上申ノ趣旨ハ人民相對ノ証書ノミニアルヲ以テ此趣旨ヲ以テ指令セント欲ス敢テ稟議スト同年九月裁下アリ曰ク第六

十四號布告ノ通心得ヘシト即チ右裁下ノ日第六十四號ノ布告アリ曰ク第五十號諸証書云々ノ布告へ諸証書トハ契約ノ証書ニ限ルノ但書ヲ追加スト

同月建議シテ曰ク地租改正ノ處分ハ地租改正局へ委任セラレタルヲ以テ其處分ニ對シ訴出ル者アリト雖モ裁判官ニ於テ受理スヘキ者ニアラス然レモ一切之ヲ却下スルトセハ或ハ人民ノ冤枉ヲ抱ク者アラントテ恐ル故ニ内務省中裁判局ヲ置キ右訴訟ノ審判ヲ内務卿ニ任スルヲ以テ允當トナスヘキナリト又附議シテ曰ク各省政務ニ係ル訴訟モ漸次各長官ニ裁判權ヲ任シ所屬官廳及ヒ派出官吏ノ處分ニ對スル訴訟ヲ審判スルノ法ヲ設ケラルヘシト同年十月右訴訟手續并審判手續ノ草案ヲ上ル

同月上申シテ曰ク本年一月第四十九號民事刑事ノ上告シテ已ニ裁判ヲ經タル者司法卿其裁判ヲ允當ナラスト思量スル者アル片ハ檢事ヲシテ再審ヲ求メシムヲ得ルノ布告ハ蓋シ其趣旨裁判ノ當ヲ得サル者ナカラシムルニ在ルナリ然ルニ此布告前大審院ノ裁判ヲ經タル者ニノ裁判其當ヲ得スト認ムル者アルヲ以テ右布告ニ準シテ再審ヲ求メシメント同年八月裁可アリ

同年八月丁第五十三號ヲ以テ沒收シタル銃砲彈藥ハ自今現品ヲ以テ最近ノ砲兵本支廠へ送付スヘキ旨地方裁判所ニ達シ又十一年二月丁第四號ヲ以テ

右銃器中獵銃ニ限り八年達第三十一號達ニ準シ免許商人ニ賣與シ代價ヲ以テ納付スヘキ旨ヲ達ス

同月丙第十六號ヲ以テ無罪解放ノ者旅費日當支給ニ關シ三重縣へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所檢事ニ達ス

同月丁第五十八號ヲ以テ預ケ金穀ノ證書ニ封ノ儘預リ置或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文ナキモノハ七年第二十七號布告ニ依リ通常貸借同様裁判スヘシトノ裁令ヲ經テ東京上等裁判所へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院各裁判所ニ達ス

同月丁第五十九號ヲ以テ本年第十二號布告預ケ金穀ノ詞訟ニシテ其證書中封ノ儘預リ置或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文アリト雖モ自今二十年前ニ係ル者ハ一切裁判及ハストアリ即チ二十年前トハ過去ノミヲ指ス旨心得ノ爲メ大審院各裁判所ニ達ス

同月制旨アリ曰ク清國駐留領事並朝鮮國駐留管理官ニ委任セラレタル權限中民事裁判ノ百圓以下ヲ改メ金額ノ多少ニ拘ハラズ直ニ裁判セシメントノ外務省ノ上申ヲ允可セラレタリト

同月上申シテ曰ク改定律例第百十八條凡逃亡シテ二年以外復歸シ及ヒ自首

スル者ハ首免ヲ許サスト雖モ平民ハ贖罪ニ處シ華士族ハ族ヲ復シテ祿ヲ給セストアリ然ルニ本年第五十八號布告ヲ以テ律例中收祿并ニ功俸賞祿追奪ヲ廢セラレタリ故ニ十年一月以後ニ至リ二年以外ニ復歸自首スル者ハ族ヲ復シ祿モ亦收奪セサル片ハ二年以内ニ復歸スル者ト異ナラス且平民ヲ贖罪ニ處スルト權衡平ヲ得ス宜シク律例ヲ改正セラルヘシト同年十一月第七十六號ノ布告アリ曰ク改定律例第九條第二十條第二十一條并逃亡律例及滯獄罪囚減役圖内凡華士族破廉耻甚ノ一項共都テ刪除シ第十三條第四十七條中懲役百日以下除族ニ止ル者總テ除族シテ本刑ヲ加フト改正スト

同月丁第六十三號ヲ以テ東京府下ニ限り自今刑事被告人ヲ區戸長或ハ書記ニ保管セシメス親戚或ハ鄰佑等へ便宜責付スヘキ旨大審院東京上等裁判所及ヒ檢事東京裁判所及ヒ檢事ニ達ス

同年九月上申シテ曰ク裁判所書記民事召喚狀ヲ誤寫シタル爲メ到達スルヲ得ス返戻サレタル片ハ書記ヲシテ其費用ヲ辨償セシムヘキヤト同月裁令アリ曰ク稟議ノ如シト

同月制旨アリ曰ク愛知縣下ニ於テ本年第二十八號人民所有ノ船舶賣買質入ノ布告ノ揭示ヲ遺脱シタルヲ以テ同管下ニ限り右布告中ノ期限ヲ同年十月

三十日マテ延期セントノ内務省稟議ヲ允可セラレタリト

同月制旨アリ曰ク明治九年本省第八十號証書面無原因ノ償金違約金或ハ罰金料金ヲ掲クルモ裁判上無効タルヘキノ達ヲ取消ス可シト乃チ同月丁第六十九號ヲ以テ右達ヲ廢スル旨大審院諸裁判所ニ達ス蓋シ同月第六十六號布告ヲ以テ利足制限法ヲ定メラレタルヲ以テナリ

同月上申シテ曰ク明治七年裁令ヲ經テ達シタル遞送凡例第二條ニ人民呼出狀或ハ督促狀ノ類ハ總テ民費タル可シトアリ抑裁判上人民ノ呼出督促等ハ固ヨリ一私人ノ詞訟ヨリ生スル私費ニ屬シ其區内ノ民費ニ課スル理アル可ラス且現今ノ實際ト齟齬スルヲ以テ之ヲ廢セント同十月裁可アリ同月丁第八十號ヲ以テ右達ヲ廢スル旨大審院諸裁判所ニ達ス

同年十月丙第十八號ヲ以テ犯罪人ノ原籍及ヒ事主調査ノ照會ヲ受ケタル時ハ務テ迅速ニ回答スヘキ旨檢事及ヒ府縣ニ達ス

同月制旨アリ曰ク第七十一號布告ヲ以テ明治六年第四百五號勅奏官及ヒ華族民法裁判上ニ限り奏聞ニ及ハス直ニ本人ヲ喚問スヘシトノ布告ヲ廢シタルヲ以テ其省明治九年達第十七號勅奏官及ヒ華族ノ違式誣違罪ヲ犯シ書面推問或ハ執事召喚等ニテ盡サ、ル時ニ限り本人ヲ召喚スルヲ得ヘシトノ

達ヲ廢ス可シト乃チ同月丁第七十七號ヲ以テ右達ヲ廢スル旨諸裁判所ニ達シ同年十一月丁第八十一號ヲ以テ勅奏官及ヒ華族民事裁判上及ヒ勸解ニ付テハ其家令執事ヲ喚問シ若シ本人ヲ喚問セサルヲ得サル片ハ奏請ヲ經ヘキ旨大審院諸裁判所ニ達ス

同月丁第七十四號ヲ以テ刑事ニ附帶シテ起ル民事ノ賠償ハ全ク民事ナリト雖モ刑事裁判官處分ヲ行フハ其便ニ從フ者ナルヲ以テ上訴ハ民事ノ手續ニ據ルヘキ旨大審院各裁判所ニ達ス

同月制旨アリ曰ク官吏ノ錯誤ニ因リ喚問シタル者ノ旅費日當ハ裁判所ニ於テ支給スヘキ旨内務省ヘ指令セラレタリト

同年十一月制旨アリ曰ク身代限改正及ヒ財産差押欠席裁判ノ諸法案ヲ起草シテ申稟スヘシト蓋シ身代限并失踪等ノ諸法完全ナラサルヨリ内外國人關涉ノ訴訟上往々不都合ノ事アルヲ以テ外務省ヨリ上申スル所アルニ由ルナリ

同月丁第八十二號ヲ以テ民事裁判言渡ノ日原告或ハ被告ニ於テ出席セサル時ハ出席ノ儘言渡ヲナシ關席ノ者ヘハ言渡書ヲ遞送シ不忝ノ廉ハ規則ニ依リ相當ノ處分ニ及フヘキ旨法制部ノ質問ヲ經テ高知裁判所ヘ指令シタル旨

心得ノ爲メ大審院各裁判所ニ達シ十一年二月丁第五號ヲ以テ右言渡ノ上ハ
月日ヲ明記シタル受領証ヲ出サシムヘシト追令シタル旨ヲ達ス
同月刑法草案校訂成リ分テ四編四百七十八條トナシ之ヲ上ル又參照ノ爲メ
曾テ編纂シタル各國刑法類聚七冊ヲ併セテ進達ス蓋シ律ハ國家ノ大典ナル
ヲ以テ昨年度中上ル所ノ草案ニ就キ猶討論審議シテ改竄訂正ヲ加ヘ此ニ至
テ更ニ之ヲ上リシナリ既ニシテ同年十二月制旨アリ曰ク右草案審査ノ爲メ
太政官中へ一局ヲ設ケ審査總裁審査委員ヲ置レタリト
同年十二月丙第二十號ヲ以テ求刑ハ務メテ敏速ヲ要シ現犯ヲ拘置シテ擬律
ノ申明ヲ乞ヒ供案ヲ停止シテ判斷ノ當否ヲ質問スル等ニ因リ罪囚ヲシテ淹
留セシムヘカラサル旨檢事及ヒ檢事アラサル府縣ニ達ス
同月丁第八十四號ヲ以テ控訴ノ被告人數名中旅行或ハ隔地ニ散在スル如キ
ハ原告人ヲシテ訴狀數通ヲ出サシムルヲ得ヘシトノ裁令ヲ經テ長崎上等
裁判所へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所ニ達ス
同月丙第二十一號ヲ以テ計贓スヘキ犯罪ニ係ル上告ハ必ス估計書ヲ添附ス
ヘキ旨檢事ニ達ス
同月丁第八十六號ヲ以テ裁判上人民召喚費用ニ關シ本省ノ協議ヲ經テ內務

省ヨリ兵庫岩手兩縣へ指令シタル旨心得ノ爲メ大審院諸裁判所ニ達ス
同月丁第八十七號ヲ以テ上告中拘置セラレ、者ノ保釋願ハ原裁判所ニ於テ
許否スヘシトノ裁令ヲ得タル旨大審院諸裁判所ニ達ス
十一年一月丁第一號ヲ以テ五年九月第十四號達訴訟入費規則ハ當分外國人
ニ施行スヘカラサル旨大審院諸裁判所ニ達シ又同月丁第二號ヲ以テ從前既
ニ該規則ヲ準行シタル者ハ此限ニアラサル旨ヲ追達ス
同月上申シテ曰ク明治九年第八號上告期限内ニ檢事及ヒ罪犯ヨリ上告セス
シテ司法卿其裁判ヲ不當ナリトスル片ハ期限ニ拘ハラズ大審院檢事ヲシテ
上告セシムルヲ得ル布告ノ旨ニ照セハ期限外ノ上告ニシテ其出スニ失ス
ル者ノ如キハ滿期放免既ニ幾年ノ久キヲ經ルモ大審院ニ於テ原裁判ヲ破毀
スル片ハ再ヒ拘致服役セサルヲ得ス實際不都合ナルヲ以テ此場合ニ於テハ
拘致服役スルヲ用井ス原裁判ノ如ク執行セント同年二月裁可ヲ得タリ乃チ
同月丁第六號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所及ヒ檢事ニ達ス
同年二月上申シテ曰ク民事詞訟上喚出狀送達費ハ曲者ノ辨償ニ歸スヘキハ
勿論ナリト雖モ諸裁判所ノ處分區々ニ出或ハ官費支給スル者アルヲ以テ明
治九年本省甲第五號達訴訟入費償却規則第十一條第四項ニ基キ已ムヲ得ス

裁判所ニ於テ右ノ費用ヲ一時支辨シタルモノハ其時々詞訟人ヨリ追徴シ其
 裁判落着ノ後曲者ノ辨償ニ歸スヘキ旨ヲ達セント同年三月裁可ヲ得タリ乃
 チ同月丁第十號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス
 同年三月上申シテ曰ク明治十年第四十九號脱走ノ軍人軍屬及其他ノ囚ハ以
 後沿道ノ警察署及ヒ分署ニ於テ遞傳護送スヘシトノ達ニ依レハ從前準行シ
 タル明治八年本省第九號犯罪人受取渡ノ達ハ自ラ消滅シタルナルヘシト同
 年五月九日裁令アリ曰ク稟議ノ如シト乃チ同年六月之ヲ大審院諸裁判所及
 ヒ檢事ニ達ス

同月太政官ヨリノ通牒アリ曰ク伊豆國附屬七島ハ海路嶮惡氣候ニ因テ渡航
 ナシ難キモノアルヲ以テ布告到達期限モ成規ノ如ク履踐スルヲ得ス故ニ該
 各島戸長役場ヘ到達後三十日ヲ經過シテ島民周知ト看做ントノ東京府ノ上
 申ヲ允可セラレタリト乃チ同月丁第十一號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達
 ス
 同月丙第二號ヲ以テ檢事ノ上告ニシテ大審院ニ於テ原裁判ヲ破毀シ他ノ裁
 判所ニ移シテ判決セシムル片ハ其移サレタル裁判所々在ノ地ノ檢察官檢事
 ノ事務ヲ行フヘキ旨大審院諸裁判所檢事ニ達ス

同月上申シテ曰ク琉球藩ハ藩屬以來日猶淺ク他府縣ト同視シ難キヲ以テ訴
 訟用罫紙モ同藩ニ限り暫ク發行セサルヲ可トスト同四月二日裁可アリ
 同月丁第九號ヲ以テ裁判執行ノ出訴期限ハ出訴期限規則第三條ニ準據シ五
 ケ年タルヘシトノ裁令ヲ經テ高知裁判所ヘ指令シタル旨大審院諸裁判所ニ
 達ス

同年四月制旨アリ曰ク閏刑禁獄者明治七年本省第十六號達ノ趣旨ニ準シ自
 宅ニ差置キタル内ハ自今在來ノ監獄内ヲ區分シテ入獄セシムヘキ旨内務省
 へ指令セラレタリ

同四月開拓使ヨリ稟議シタル同使ニ於テ處斷シタル懲役十年以下ノ囚人或
 ハ檢察官ノ上告ハ同使長官ノ裁決ニ任スルノ下問ニ對シ意見ヲ上答ス

同年五月丁第十五號ヲ以テ刑事被告人召喚狀ハ成ルヘク區戸長ヲ煩ハス可
 ラス若シ已ムヲ得スシテ縣廳或ハ區戸長ヲ經由スル片ハ其廳或ハ役場ニ至
 ル費用ハ其裁判所本支區廳ニ於テ支辨スヘキ旨大審院諸裁判所及ヒ檢事ニ
 達シ又同月丁第十六號ヲ以テ右呼出ハ刑事ニ限ル旨ヲ達ス蓋シ右脚夫賃郵
 便稅支出ニ關シ内務省ヨリ協議アリタルヲ以テナリ

同月制旨アリ曰ク起業公債証書發行ニ就キ銀行ヘ申込書銀行ヨリ發スル受

取書假証券トモ印紙貼用ニ及ハサル旨大藏省へ指令セラレタリト乃チ同月
 丁第十九號ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所ニ達ス
 同年六月制旨アリ曰ク春秋二季皇靈祭日ハ休刑スヘシト乃チ同月丙第三號
 ヲ以テ之ヲ大審院諸裁判所及ヒ檢事ニ達ス
 同月丙第四號ヲ以テ自今訟廷内ノ犯罪及ヒ審問上ヨリ發覺スル本件附帶ノ
 罪ヲ除クノ外總テ檢事ノ公訴ニ因リ處斷スヘキ旨大審院諸裁判所及ヒ檢事
 ニ達ス
 同月仙臺裁判所長判事土師經典裁判所ノ呼出ヲ受ケ遲參不參シテ罰金ヲ納
 ムル丁能ハサル者ハ禁獄ニ換ユヘキノ建議ヲ進達ス蓋シ建議ノ趣旨採ルヘ
 キ者アリト思量スルヲ以テナリ
 同月丁第二十四號ヲ以テ行政裁判ニ屬スルモノハ官廳ヨリ償還スヘキ條理
 アルト否トニ拘ハラヌ總テ裁判見込案ヲ具シテ申稟スヘキ旨大審院上等裁
 判所ニ達ス

裁判所廢置附管轄

地方裁判所ハ本年度中廢置移轉等ノ事ナシト雖モ各裁判所管内ヲ通シテ支
 廳ヲ増置スルモノ三所區裁判所ヲ増置スルモノ十七所ナリ乃チ十一年六月
 三十日各裁判所管内ノ支廳區裁判所現在ノ數左ノ如シ

本廳	支廳	前年度ヨリ増	區裁判所	前年度ヨリ増
東京裁判所	一		八	
橫濱裁判所			三	
水戸裁判所	一		五	
熊谷裁判所	二		五	
名古屋裁判所	三		一三	二
松本裁判所	二	一	五	一
新潟裁判所	三		九	
静岡裁判所	二		六	
京都裁判所	二		七	一
大坂裁判所	二		七	
神戸裁判所	二		八	一
金澤裁判所	三	一	八	
松山裁判所	二	一	六	
高知裁判所	一		四	

松江裁判所	廣島裁判所	弘前裁判所	仙臺裁判所	福島裁判所	函館裁判所	長崎裁判所	熊本裁判所	鹿兒島裁判所	合計
二	一	一	一	三		三	一	一	三九
									三
五	七	六	五	六	二	一〇	一〇	六	一五一
	一	一	一			一		六	一七

松本裁判所管轄美濃飛彈兩國ハ尾參勢ノ三國ニ接近シ其地理名古屋裁判所ニ屬スルヲ便宜トナスヲ以テ十年八月之ヲ上申ス乃チ同月第六十一號ヲ以テ岐阜縣管轄美濃飛彈兩國裁判事務自今名古屋裁判所ニ屬セラル、ノ布告アリ

琉球藩民ノ控訴及ヒ官府ニ對スル訴訟ノ管轄ハ地勢ニ因レハ長崎上等裁判所ニ屬スヘント雖モ該島ハ環海ノ島嶼ニシテ舟楫ノ便專ラ大坂ニ在ルヲ以

テ寧ロ大坂上等裁判所ノ管轄ト定ルヲ便宜トスルヲ以テ十年八月之ヲ上申ス乃チ同月第七十三號ヲ以テ自今琉球藩ヲ大坂上等裁判所管轄内ニ加ヘラル、ノ布告アリ

九州臨時裁判事務局將來ノ事務ハ當省へ繼受ス可キ旨十一年六月制旨ヲ奉シ且右事務ハ司法卿ニ委任セラレタルヲ以テ同月丙第六號ヲ以テ之ヲ地方裁判所及ヒ府縣ニ達ス

職員附雇外國人

本年度ノ終リ職員現在ノ數ハ三千五百八十八人ナリ御用掛并雇ヲ除ク之ヲ前年度ノ終リ即チ十年六月三十日ノ現員ニ比較スレハ書記官ハ一人ヲ減シ司法屬ハ八十九人ヲ減シ判事ハ八十六人ヲ増シ判事補ハ四百七十八人ヲ増シ檢事ハ九人ヲ増シ檢事補ハ二十九人ヲ増シ大審院及ヒ裁判所屬ハ百九十四人ヲ増シ判任ノ出仕ハ三百九十二人ヲ減シ等外ハ百九十七人ヲ減シ通シテ百十七人ヲ減セリ然ルニ前年度ハ判事檢事官等改正ノ事年度將サニ盡ントスル際即チ十年六月二十八日ニアルヲ以テ同日ノ現員ヲ掲ケテ年度中ノ實況ヲ示セリ故ニ本年度モ右ノ現員ニ比較シテ始メテ其増減ノ實況ヲ見ル可キナリ

乃チ兩年増減ノ比較左ノ如シ

官職	人員	十年六月二十八日ヨリ	
		増	減
卿	二		
書記官	九		一
司法屬	一〇六		八一
判事	一六九	五五	
判事補	五〇三	一六五	
檢事	一九		二
檢事補	三六	四	
大審院	二三四	一二六	
裁判所	五二一		三五九
等外	一、四一七		一一四
計外	三、〇一六		一八二
御用掛及雇	五七二		
合計	三、五八八		

判任ノ出仕ニシテ判事補或ハ檢事補ノ事務ヲ行フ者アリト雖、前年度表中之ヲ區別セサルヲ以テ本年度モ合記シテ比較ス

御用掛并雇ハ前年度表中ニ掲ケサルヲ以テ増減ヲ比較スルニ由ナシ故ニ之ヲ合計外ニ掲ク

更ニ右表中ノ職員ヲ本省及ヒ大審院各裁判所ニ區別スレハ左ノ如シ

本省十一年六月三十日ノ現員ハ百九十四人トス御用掛并雇ヲ除ク之ヲ十一年六月二十八日ノ現員ニ比較スレハ書記官及ヒ屬ハ各一人ヲ減シ判事ハ三人ヲ減シ判事補ハ五人ヲ減シ檢事ハ三人ヲ増シ檢事補ハ一人ヲ増シ等外ハ十八人ヲ増シ通シテ十二人ヲ増セリ然ルニ十一年六月二十八日ノ現員ハ之ヲ各局課ニ區分セス故ニ其増減ヲ比較スルニ由ナキヲ以テ單ニ本年度末ノ現員ヲ示ス丁左ノ如シ

大坂上等裁判所		東京上等裁判所		大審院		廳名	
				一	一	圓十五	給月
						圓五十四	全
		一				圓十四	全
						圓十三	全
						圓五十二	全
			一			圓十二	全
						圓五十	全
						圓二十	全
一						圓十	全
						圓八	全
三						圓七	全
一。						圓六	全
						錢十五圓五	全
						圓五	全
						錢十五圓四	全
						錢五十二圓四	全
						圓四	全
						錢十五圓三	全
						圓三	全
						錢五十二圓二	全
二	二	二				計	合

雇

全雇ヲ抽記シテ給料ヲ區分スル丁左ノ如シ

合計	大坂上等裁判所		宮城上等裁判所		長崎上等裁判所		東京裁判所		京都裁判所	
	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
六	二	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	七	二	二	一	一	一	一	一	一	
三	一〇	一	三	一	二	一	二	一	二	
五	三			一						
三	九	一	一	二	二	一				
五	五			一					四	
三	三	一							一	
五	五	一	三	一						
五	五	五	一〇	七	六	一				
減	六	二	三							
二	八			三	二					

同檢事檢事補ヲ抽記シテ俸給ヲ區分スル丁左ノ如シ

大審院		東京上等裁判所		廳名	
一	一	圓十五	俸月	奏	檢
		圓百	全		
一	一	圓十八	全	任	事
		圓十六	全		
一	一	圓十五	全	任	補
一	二	圓五十四	全	判	檢
一	一	圓十四	全		
一	一	圓五十三	全	任	補
		圓十三	全		
		圓五十二	全		
		圓十二	全		
六	六	計	合		
	一	增	減	八	月
				日	十
				ヨリ	年
					六
三					

合計	鹿兒島裁判所		熊本裁判所		松山裁判所		高知裁判所		廣島裁判所		松江裁判所		金澤裁判所	
	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五														
三														
七	七	二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
六	六	二	二	三	二	四	三	二	二	一	三	三	三	
四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
九	九	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
七	七	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	

モノハ「シユル、シエスラン」一人ニシテ豫約ヲ踐ミ殘期十一月給料ノ半額三千三百圓ヲ給與シ及ヒ奉職中ノ功勞ヲ賞シテ大和錦料トシテ金百三十二圓十六錢三厘ヲ贈與ス而シテ彼レノ求メニ因リ解約セシモノハ「ロベルトリツブマン」一人ナリ又「ヘルベルト、エステーウエンス」ハ雇期限中病没シタルヲ以テ生前ノ功勞ヲ追賞シテ金二百圓ヲ贈與セリ即チ十一年六月三十日ノ現員左ノ如シ

奉職廳名	國名	姓名	職務	給料	雇期限
本省	佛蘭西	ギユスターウブ、エール、ホアソナード、ドフランタラビー	法律顧問	月給 七百圓 手當 二百圓	自 九年十一月十五日 至 十二年十一月十四日
全	米利堅	シヨージ、ワルレス、ヒール	裁判顧問	月給 五百圓	自 九年八月二十五日 至 十二年八月二十四日
全	佛蘭西	ヒエール、シヨセ、ムーリエ	翻通法律	月給 三百圓	自 十一年八月十日 至 十一年八月九日
全	和蘭	アターム、ラパール	法律顧問	月給 三百圓	自 十一年二月二十二日 至 十一年七月三十一日
全	佛蘭西	ブロスベール、フオルチ子、フー	法律顧問	月給 二百圓	自 十一年三月十五日 至 十一年九月十四日
横濱裁判所	米利堅	フルツヤル、アトル	通書	月給 百圓	自 十一年一月一日 至 十一年十二月三十一日
全	清國	羅寶森	通書	年給 四百圓	自 十一年十二月六日 至 十一年十二月五日

合計	人員	七人	給料二千三百三十三圓三十三錢三厘
十一年六月二十日ヨリ減	人員	二人	給料千零五十圓
年給ハ十二分シテ其一ヲ合計ニ算入ス			

職員ニ關シ上申シテ裁令ヲ經或ハ制旨ヲ奉シタル者ヲ舉レハ官吏ノ私ニ職役ヲ離レ懲戒例ニ依リ職ヲ免シタル者月俸ノ給否ハ長官ノ意見ニ任スル事本年第四十六號達判事檢事判事補檢事補年月俸表中何等官相當ノ文字ヲ削リ席次ハ勅奏判ヲ以テ之ヲ大別シ同任同官ハ位階ニ依リ同位ハ叙位ノ先後ニ依リ之ヲ定ムル事及ヒ裁判所長ハ位階ノ先後ニ拘ハラヌ其廳ニ於テハ必ス上席セシムル事懲戒例ニ依リ職ヲ免シタル者滿年賜金ヲ給セス旅費ハ九年第六十四號達旅費定則第七項ニ依テ之ヲ給スル事判事年俸中二千百圓千五百圓ノ二級檢事月俸中百七十五圓百二十五圓ノ二級ヲ増設スル事等ナリ」其大審院或ハ裁判所ニ達シタル者ヲ舉レハ十年八月丁第六十一號ヲ以テ判事檢事席次心得ヲ達シ同年九月丁第六十四號ヲ以テ官吏懲戒例ニ依リ職ヲ免シタル者ハ滿年賜金ヲ給セサル旨ヲ達シ同年十月丁第七十九號ヲ以テ裁

判所長ハ位次ノ先後ニ拘ハラズ其廳限リ上席スヘキ旨ヲ達シ同月丁第七十二號ヲ以テ各廳ニ於テ判任官ヲ採用スル心得ヲ達シ同年十一月第八十三號ヲ以テ判任以下公私旅行ノ發着九年丁第九號達并歸省療養願除服出仕改印ヲ申牒スル例規ヲ廢スル等ナリ

法學專門生徒

本省學校ニ於テ成育スル法律學生徒ハ前年度ヨリ十七名ヲ減セリ即チ本年度中病死セシモノ一人ニシテ疾病或ハ學業ノ不進歩又ハ不品行等ニ因リ退校ヲ命セシ者十六人ナリ外國在留ノ生徒ハ本年度中獨乙學校ニ於テ卒業シ歸朝シタルモノ一人ニシテ佛國留學生徒ノ數ハ前年度ニ異ルナシ即チ十一年六月三十日ノ現員左ノ如シ

佛國西國留學	九	外國教師	二	教員兼事務掛	八
司法省學校	七七	生徒	七七		

合計	八六	前年度ヨリ減	一八		八
					三

出仕生徒ハ明治九年十二月一旦之ヲ廢スト雖卅十年九月ニ至リ更ニ又之ヲ招募シ照查課ニ於テ教育ノ事務ヲ管掌ス其教育ノ方法ハ本省學校ニ於テ成育スル生徒ト異ナリテ專ラ速成ヲ主トシ教員ハ外國教師ノ講議ノ外照查課員ヲシテ教授ヲ兼掌セシムル等畧ホ九年度ニ招募シタル生徒ニ同シ即チ十一年六月三十日生徒ノ現員五十名外國人ノ教授ヲ兼掌スルモノ二人課業掛六人ナリ

恩赦特典

本年度中恩赦ノ特典ヲ被リシ人員ハ九百五十六人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ六百七十三人ヲ増ス而シテ其恩赦ヲ被リシ因由ヲ大別スレハ人命ヲ救助シタル者百七十五人懺悔ノ實效アル者二百九十一人罪跡ノ憫諒スヘキ者十二人失火消防ニ盡力セシ者百七十一人囚徒ノ脱監ヲ報告セシ者五十人逃

走ノ囚徒ヲ捕獲シタル者百二十五人西南征討ノ際軍役ニ從事シテ勤勞アル者百二十六人傳染病ニ罹リタル囚徒ヲ看護シタル者四人獄吏ノ命ヲ受ケテ未決囚ヲ誨諭シテ白狀セシメタルモノ一人ナリ又國事犯囚ノ存留養親ヲ聽サレタルモノ一人アリ是亦特典ニ出ルモノナリ乃チ各廳恩赦ヲ被リシ者ノ原刑及ヒ減等ノ差等左ノ如シ

救典ヲ乞ヒタル廳	原		刑	
	死	懲役	同	同
東京上等裁判所	一	減等一	年十	同
大坂上等裁判所	二	減等二	年七	同
東京裁判所	四	減等三	年五	同
京都裁判所	一	減等四	年三	同
		減等五	半年二	同
		減等六	半年二	同
		減等七	半年一	同
		減等八	年一	同
		減等九	日百	同
		減等十	日十九	同
		減等十一	日十八	同
		減等十二	日十七	同
		減等十三	日十六	同
		減等十四	日十五	同
		減等十五	日十四	同
		減等十六	日十三	同
計	一			合
東京上等裁判所	一			
大坂上等裁判所	三			
東京裁判所	四			
京都裁判所	三			

大坂裁判所	長崎裁判所	松本裁判所	仙臺裁判所	廣島裁判所	開拓使	京都府	大坂府	兵庫縣	岐阜縣	熊本縣	福島縣	群馬縣
一	一	一	二	一		二	一	五	二	六	三	一
二	九		三			六		二	六	九	三	二
三	七		一			二		七	二	九	三	一
四	三					一		二		四	五	一
五	一									六	八	一
六	一									四	六	一
七	一									七	二	一
八	一									五	四	一
九	一									二	三	一
十	一									一	一	一
十一	一									一	一	一
十二	一									一	一	一
十三	一									一	一	一
十四	一									一	一	一
十五	一									一	一	一
十六	一									一	一	一
十七	一									一	一	一
十八	一									一	一	一
十九	一									一	一	一
二十	一									一	一	一
計	二四	一	八	三	二	〇	六	二九	一七	一五九	二四三	一一

合計	鹿兒島裁判所	熊本裁判所	松山裁判所	高知裁判所	廣島裁判所	松江裁判所	金澤裁判所	弘前裁判所	福島裁判所	仙臺裁判所	松本裁判所	静岡裁判所	名古屋裁判所	水戸裁判所	熊谷裁判所
三、五八八	六九	一五四	一〇四	九八	一二〇	一〇四	一四六	七五	一五二	一〇六	八二	一四〇	一五三	一〇一	一二〇
一、二九九、五五八	四六、九三三	六九、八五一	三二、二一四	三三、二五五	三四、八八三	三四、八五九	三一、二七一	二四、一三一	三八、六八二	二八、一五七	二四、七一五	三六、二四七	五七、四七一	二五、一二一	二九、八一二
七八一	四四二	六〇三	一三一	八一七	〇四一	三二一	六一八	〇二八	三二四	五〇〇	八三三	〇八九	一〇〇	三八七	二七二

各裁判所ノ新築本年度ノ起工ニ係リ一所ニシテ經費金額千圓以上ニ及フ者

左ノ如シ

應名	在廳地名	造築種類	總坪	起工月日	落成月日	經費金額
宮城上等裁判所	陸前國宮城郡 仙臺片平町	木造	八十四坪	十一年五月三十日	同十一月廿七日	三千七百圓
名古屋裁判所	尾張國愛知郡 名古屋區本町	木造	百六十八坪	十一年三月十三日	同六月廿二日	五千五百五十八圓 廿七錢二厘
静岡裁判所	駿河國有渡郡 静岡追手町	木造	百廿坪	十一年五月十五日	同六月十二日	四千二百三十六圓 八十五錢五厘
松江裁判所	出雲國意宇郡 雜賀町	木造	五百十九坪 五合	十一年五月十八日	同十月十六日	一万九百九十圓 三錢六厘
高知裁判所 徳島支廳	阿波國名東郡 富田浦字徳島	木造	三百十八坪 五合	十一年五月十日	同七月八日	七千六百九十二圓 四十錢
松山裁判所	伊豫國溫泉郡 松山一番町	木造	九十二坪	十一年四月一日	同六月三十日	千六百圓
熊本裁判所	肥後國飽田郡 熊本京町	木造	二百三十二坪 五合	十一年六月廿七日	同十月廿二日	一万四千四百九十圓 八圓八十六錢
同大分支廳	豊後國大分郡 大分町	木造	二百五十三坪	十一年六月廿七日	同十月七日	六千八百十七圓七 十一錢
同中津支廳	豊前國下毛郡 中津町	木造	百十坪二合五 夕	十一年六月廿七日	同八月廿三日	千七百九十三圓廿 六錢

同山鹿區裁判所	肥後國山鹿郡 山鹿町	木	九十一坪	十一年六月廿七日	同九月廿四日	二千三百九圓六十 三錢五厘
同八代區裁判所	肥後國八代郡 八代町	木	九十一坪五合 二夕六才	十一年六月廿七日	同九月八日	二千二百十圓三十 一錢九厘
同人吉區裁判所	肥後國球磨郡 人吉町	木	八十七坪二合 五夕	十一年六月廿七日	同九月十日	二千二百六十六圓 三十一錢五厘
同竹田區裁判所	豐後國真入郡 竹田村	木	九十一坪二合 五夕	十一年六月廿七日	同八月廿六日	二千二百七十三圓 四十二錢
同佐伯區裁判所	豐後國海邊郡 佐伯村	木	九十四坪	十一年六月廿七日	同八月廿六日	千七百四圓九十一 錢六厘
鹿兒島裁判所	薩摩國鹿兒島郡 鹿兒島鶴峯 神社下	木	三百十五坪五 合	十一年四月廿六日	同十月廿八日	一万九千四百四十 六圓九十四錢六厘
同大島區裁判所	大隅國大島郡 大島名瀬方金 久村	木	四十八坪五合	十一年四月廿六日	同十月十六日	千四百二圓廿二錢 八厘
合計		十六所	坪數 二千七百十六坪七合 イ夕六才		經費 金八万七千七百二圓七錢 二厘	

會計事務ノ例規ニ關シ上申シテ裁令ヲ經タル者ハ判事以下ノ年俸ハ一年ノ月數ニ分割シ任免歸省等總テ月俸規則ニ依テ支給スル事勅任ノ判事檢事旅費日當ハ旅費日當表中勅任官旅費ノ二等ヲ以テ支給スル事鹿兒島裁判所管

内大島區裁判所在勤ノ官吏ハ同縣官吏該島在勤手當ノ例ニ準シテ手當ヲ支給スル事等ナリ

其大審院或ハ裁判所ニ達シタルモノハ十年九月丁第六十九號ヲ以テ會計勸查上ノ規定ヲ達シ同年十月丁第七十一號ヲ以テ更ニ之ヲ改正シ同月丁第七十三號ヲ以テ各廳在勤又ハ歸京ノ者月俸給與區分ヲ達シ同年十二月丁第八十五號ヲ以テ各廳定額金豫メ餘贏ヲ存スル目途ヲ以テ支出スヘキ旨ヲ達シ十一年三月丁第十二號ヲ以テ各廳官金取締心得ヲ達スル等ナリ

書籍附翻譯編纂表式

省中ノ圖書ヲ看守シ及ヒ翻譯編纂ノ書籍ヲ刊行スル事務ハ從前編纂課ニ於テ擔當スト雖氏猶此事業ヲ整頓センコトヲ期シ十年一月特ニ書籍ノ一課ヲ置キ專ラ此事務ヲ管掌セシム即チ同課ニ於テ本年度中刊行シタル書目左ノ如

刊行書目		冊數
佛國民法詳説	身分証書ノ部	一冊
証據論拔萃	第二卷	一冊
佛國民法解釋	自第六卷至九卷	四冊
佛國刑法畧論		一冊
佛國刑法撮要		一冊
佛國民法覆義	自第一卷至第二卷	二冊
佛國政法畧論	出版自由部	一冊
英國財產相續法		一冊
字國財產相續法		一冊
埃及法律書		一冊
米國法律原論		二冊
佛國ノテール規則		一冊
各國刑法類纂	第二卷	一冊

司法省指令錄	民事部	自十八號至二十五號	一冊
司法省指令錄	刑事部	自二號至三十四號	一冊
外國教師質問錄		自第一卷至第三卷	三冊

書籍ノ事務ニ付テハ十年十二月丁第八十八號ヲ以テ本省ニ於テ刊行ノ書籍ハ孰レモ裁判官ノ參考トナルヘキ者タルニ因リ各廳ノ需用十部ヲ限り製本原價ヲ以テ下付スヘキ旨ヲ達シ十一年三月丁第七號ヲ以テ各裁判所々藏ノ書籍目錄毎年六月十二月兩回調査シテ申牒スヘキ旨ヲ達セリ

翻譯及ヒ編纂ノ事務ハ各一課ヲ置テ擔當セシム即チ右兩課ニ於テ本年度中翻譯編纂シタル書目左ノ如シ

編			
佛國商法註解			五冊
佛國常用法			三冊
佛國民法解釋			二冊
英國財產相續法			一冊

纂		編		譯						
現行民法拾遺大意	類聚法規	川德禁令考	憲法志料	增氏約定法	米法律原論	民法覆義	佛國商法釋義	訴訟法字書	訴訟法原論	字國財產相續法
編	現目録	自首卷至第三卷 自第四卷至第九卷	二初編 六四冊	五冊	十六冊	二冊	二冊	四冊	三冊	一冊
纂	七冊	編整 纂中	編整 纂中	中	中	中	中	中	中	中
中	頓	頓	頓	中	中	中	中	中	中	中

民事刑事表紀ノ事業ハ明治五年ノ行刑表ヲ以テ始トナス爾來屢改正ヲ經テ本年度ニ至リ稍此事業改良ノ端緒ヲナセリ即チ十年八月丙第十七號ヲ以テ犯罪未決件數表式ヲ改正シ丁第五十四號ヲ以テ毎月主理ノ判事若クハ判事

補當該ノ勸解表ヲ作り具上スヘキ旨ヲ達シ丁第五十六號ヲ以テ訟獄審理表式ヲ改正シ丁第六十二號ヲ以テ毎月主理ノ判事若クハ判事補當該ノ犯罪糾問件數表ヲ作り具上スヘキ旨ヲ達シ同年九月丁第六十六號ヲ以テ巡廻裁判規則判事職制通則ヲ删除セラレタルニ因リ取扱刑事取調書中ノ數項ヲ改正シ十一年一月丁第三號ヲ以テ各廳民事裁判上金錢ニ關スル訴訟ヲ調査シテ具上スヘキ旨ヲ達シ同年五月丁第十四號ヲ以テ勸解表式ヲ改正シ同年六月丁第二十號二十一號二十二號ヲ以テ民事刑事訴訟表雛形并記載例ヲ定メ之ヲ大審院諸裁判所ニ達スル等其沿革ノ大畧ナリ

代言人

代言人ハ本年度中新ニ免狀ヲ與ヘシモノ二百五十四人前年度ヨリ繼續シテ營業スルモノ三百五十七人ナリ右ノ内年度中廢業セシモノ十一人除名セシモノ三人死亡セシモノ五人アリ即チ十一年六月三十日ノ現員ハ五百九十二人ナリト雖田兩裁判所ヲ兼ネテ營業スルモノ百七十人アルヲ以テ其實數ハ四百二十二トス而シテ隨實ニ處セラレシモノ停業ニ處セラレシモノ各一人アリ茲ニ各裁判所代言ノ現員ヲ示スト左ノ如シ

廳名	代理人ノ數
東京上等裁判所	五二
大坂上等裁判所	四九
宮城上等裁判所	一四
東京裁判所	四七
京都裁判所	三六
大坂裁判所	六九
横濱裁判所	七〇
神戸裁判所	七〇
長崎裁判所	九三
函館裁判所	九三
新潟裁判所	九七
熊谷裁判所	七九
水戸裁判所	八九
名古屋裁判所	五八
静岡裁判所	八八
松本裁判所	八八
仙臺裁判所	二三

福島裁判所	一六
弘前裁判所	一〇
金澤裁判所	一五
松江裁判所	七八
廣島裁判所	二七
高知裁判所	三二
松山裁判所	二二
熊本裁判所	四二
鹿兒島裁判所	一四
合計	五九二
重複ヲ除キタル數	四二二
十年六月三十日ヨリ増	八六

大審院長崎上等裁判所ハ代理人之ナシ
重複數ハ上等裁判所ト地方裁判所兼業ノ者ニ係ル

十年十二月本省中附屬代言人ヲ置キ官廳ニ關スル訴訟ニ付テ官ノ代言ヲ爲シ及ヒ人民ノ貧困ニシテ代言人ヲ雇フニ資力ナキ者等ノ委託ヲ受ケ其代言

ヲ爲サシメシトテ上申シ裁可ヲ得タルヲ以テ同月丙第二十二號ヲ以テ之ヲ
 大審院諸裁判所ニ達シ同年十二月代言規則中代言人檢査ハ第一條ノ外時宜
 ニ依リ本省ニ於テ直ニ之ヲ檢査スルコトアルヘシトノ一條ヲ追加センコトヲ上
 申シ裁可ヲ得タルヲ以テ十一年二月甲第一號ヲ以テ之ヲ全國ニ布達シ同年
 五月丁第十七號ヲ以テ代言人ノ犯罪ハ懲役百日以下ニ該ル者ト雖モ其犯狀
 盜贓詐偽等ニ係リ代言人ノ職掌上有ル可ラサル所業ト認ムル片ハ各本律ニ
 依テ處斷シ仍ホ代言規則第十四條ノ罰目ヲ併科スヘキ旨諸裁判所ニ諭達ス
 本年度中草スル所ノ文書ノ數凡ソ八千九百九十八件ニシテ太政官へ稟議二百
 零八件同上申三十二件同上答二件諸達二百四十三件一裁判所或ハ一府縣へ
 達六百三十二件大審院諸裁判所或ハ府縣へ指令二千二百十五件照會或ハ回
 答千六百三十三件通牒報告ノ類三千二百三十三件ナリ

第二編民事綜計表要旨

大審院 自第一表 至第四表

本年民事上告ノ總數ハ百五十六件ニシテ 第一表 見合 此内東京上等裁判所ノ判決
 ニ對スル者百零五件大坂上等裁判所ノ判決ニ對スルモノ四十三件宮城上等
 裁判所長崎上等裁判所ノ判決ニ對スルモノ各四件ナリ
 右件數ノ外前年ノ終リニ於テ判決ニ至ラサルモノ百二十七件アリ合計二百
 八十三件ハ本年審理ス可キノ件數ナリ
 本年大審院ニ於テ結局ニ至リタル件數ハ左ノ如シ

- 一 願下 十四件
- 一 棄却 七十件
- 一 破毀 十八件

本年ノ終リニ至リ尙ホ百八十一件ノ未決アリ 内本年七月第四十九號布告ニ依リ再審ヲ求メタル上告一件
 之ヲ前年ノ未決件數ニ比スレハ増加セシコト五十四件ナリ〔前年ハ百二十七
 件〕

出訴ヨリ結局ニ至ル迄ノ時日ハ六月以内ニ判決ヲ爲シタルモノ凡ソ十分ノ
 三前年ハ凡ソ十分ノ五半年以上二年以内ニ判決ヲ爲シタルモノ凡ソ十分ノ

		結局時間							結局區別			
建物	土地	人事	計	三年以内	二年以内	一年以内	六月以内	三月以内	計	刑事廻	破毀	棄却
一一	一五	二	六五	〇	一二	二〇	九	二四	六五	一	一三	四八
四	三八	五	一〇二	一	三〇	四二	一〇	一九	一〇二	〇	一八	七〇
	二三	三	三七	一	一八	二二	一		三七		五	二二
七								五		一		

訴訟件目大別					
計	雜事	証券	物品	米穀	金錢
六五	四	六	三	一	二三
一〇二	七	二	二	一二	三二
三七	三			一一	四
		四	一		

上等裁判所自第五表至第十表

本年各上等裁判所ニ於テ裁判ス可キ訴訟件數合セテ千六百十件アリ
 内初告即チ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟九十七件控訴即チ各地方裁判所ノ裁
 判不服ノ訴訟千五百十三件ナリ又前年ノ未決件數初告二百六十二件ヲ合シ
 テ千八百七十二件ト爲ル是レ本年審理ス可キ事件ノ總數ニシテ其結局ニ至
 リタル件數ハ左ノ如シ

一願下

百六十七件

一棄却

二百八十三件

一裁許

九百三十五件

本年ノ終リニ至リ裁判ス可キ未決件數四百八十七件アリ之ヲ前年ノ未決件數ニ比スレハ二百二十五件ヲ増ス〔前年ハ二百六十二件〕

出訴ヨリ裁判ニ至ル迄ノ時日ハ第六表六月以内ニ判決ヲ爲シタルモノ千二

百零五件凡ッ十半年以上一年以内ニ判決ヲ爲シタルモノ百三十九件凡ッ十

一年以上二年以内ニ判決ヲ爲シタルモノ四十件凡ッ三十二年以上ニ及ヒ判

決ヲ下シタルモノ一件トス

右結局件數中金錢ニ關スルモノ六百六十七件此金額六十七萬八千二百五十

六圓七十三錢六厘ナリ第二十表之ヲ前年ニ比スレハ其件數ノ増ス四百二十四

件此金額三十七萬六千五百八十四圓二十四錢ナリ〔前年ハ三百九十一件金額

百零五萬四千八百四十一圓零七錢六厘之ヲ平均スレハ一件千零十六圓八十

七錢六厘餘ニ當ル前年ヨリ減スル一千六百八十圓九十二錢七厘ナリ〔前年ハ

二千六百九十七圓八十錢三厘〕又各廳ニ就テ一件平均ノ金額ヲ見ルニ東京上

等裁判所ハ千四百四十八圓九十三錢餘大坂上等裁判所ハ九百九十一圓九十六

錢九厘餘長崎上等裁判所ハ七百五十一圓五十九錢八厘餘宮城上等裁判所ハ

四百六十八圓六十四錢一厘ナリ以テ各廳所管ノ梗概ヲ見ルヘキナリ

又金額ノ階級ニ就テ之ヲ較レハ百圓以上五百圓以下ノ件數最も多ク百圓以

下ノ件數ハ金額減スル毎ニ漸ク減シ五百圓以上ノ件數ハ金額ノ増ス毎ニ亦

却テ遞減ス

以上其總數ヲ以テ算出スル所ナリ以下初告控訴ヲ分ツテ以テ之ヲ説明ス

人民ヨリ官府ニ對スル訴訟結局數ハ百十三件第七表内二十八件ハ願下五十

八件ハ棄却二十七件ハ裁許ナリ

右判決ニ對シ上告ヲ爲スモノ四十三件アリ之ヲ總數ニ願下ヲ比例スレハ十

分ノ五強ニ當ル非常ノ多數ト云フヘシ然レモ其上告ノ結果ヲ見ルニ破毀セ

ラル、者僅カニ三件棄却十三件願下二件其他二十五件ハ未決トス

右訴訟ノ種類ハ土地ニ關スルモノ最も多ク凡ソ總數十分ノ四ニ當ル金錢ニ

關スルモノ之ニ次キ凡ソ總數十分ノ三ニ當ル裁判執行ヲ拒ム等ノ雜事ハ又

之ニ次キ凡ソ總數十分ノ二ニ當ル其他各種ノ訴訟ヲ合シテ凡ソ總數十分ノ

二ニ當ル

其裁判廳ヲ舉レハ東京上等裁判所ハ最も多ク百零五件大坂上等裁判所ハ之

ニ次キ三十件長崎上等裁判所ハ又其次ニシテ二十一件宮城上等裁判所ハ僅

地方裁判所始審ノ言渡ニ對スル控訴結局數ハ千二百七十二件第十表内百三十九件ハ願下二百二十五件ハ棄却九百零八件ハ裁許ナリ而シテ其判決始審ヲ可トスルモノ六百三十件始審ヲ不可トスルモノ二百七十八件ナリ
 右判決ニ對シ上告ヲ爲シタルモノ百七十件之ヲ總數願下ヲニ比例セハ凡ソ十分ノ一五ニ當ル人民ヨリ官府ニ對スル訴訟ノ上告ニ比スレハ頗ル少數ナリ而シテ其上告ノ結果ヲ見ルニ破毀二十四件棄却四十五件願下二十六件其他ハ未決トス

右控訴ノ種類ハ人民ヨリ官府ニ對スル訴訟ノ種類ト其趣ヲ異ニシ金錢ニ關スルモノ最モ多ク總數十分ノ五ニ當ル土地ニ關スルモノ之ニ次キ總數十分ノ三ニ當ル其他各種ノ詞訟ヲ合シテ僅カニ總數十分ノ二ニ當ル

右控訴ノ原裁判所ヲ舉レハ大坂裁判所ハ最モ多ク二百零八件東京裁判所ハ之ニ次キ百七十四件神戸裁判所ハ八十五件横濱裁判所ハ七十件長崎裁判所ハ五十六件京都裁判所ハ五十件松本裁判所高知裁判所ハ各四十九件水戸裁判所ハ四十八件熊谷裁判所名古屋裁判所新潟裁判所ハ各四十件以下静岡裁判所金澤裁判所松山裁判所ハ各三十件以下廣島裁判所長野縣岐阜縣堺縣岡

山縣廣島縣熊本縣元神奈川裁判所石川縣ハ各二十件以下其他各裁判所各縣共各十件以下トス

右控訴ヲ受ケタル裁判所ノ件數ヲ舉レハ東京上等裁判所ハ五百三十九件大坂上等裁判所ハ五百三十八件宮城上等裁判所ハ五十四件長崎上等裁判所ハ九十四件而シテ初審裁判ヲ經サルニ因リ直チニ棄却セシモノ四十七件ハ前數ノ外ニアリ内二十件ハ東京上等裁判所
二十七件ハ大坂上等裁判所

右初告控訴ニ關スル種々ノ事件ヲ前年ニ比較シテ其増減ヲ示ス左ノ如シ

初告 控訴	初告總數		内		九年 件數	十年 件數	九年 ヨリ	
	本年 新訴	前年 ヨリ越 高	内				増	減
			既 決	未 決				
	二〇四	六一	一四七	一六四	一四一	四四	六七	
			九七	一一三			五一	
			四四	二八			一六	
願 下	三七		四四	二八	二八		九	

控訴件目大別							控訴結局區別					本年新訴	
証券	物品	米穀	金錢	建物	土地	人事	計	刑事廻	裁許	棄却	願下	未決	既決
二二三	三七	五三	三五〇	四八	二一六	三二		七九七	三	三六九	二六七	一五八	二一八
一九	四七	五八	六三三	三九	三八一	四二	一二七二	〇	九〇八	二二五	一三九	四五九	一二七二
	一〇	五	二八三		一六五	一〇	四七五		五三九			二四一	四七五
四				九				三		四二	一九		

控訴總數	初告件目大別									初告結局區別			
	証券	物品	米穀	金錢	建物	土地	人事	計	刑事廻	裁許	棄却		
一九〇	一六四	四二	二	四	六	四九	二六		三一	四	一六四	一	二四
二一八	一一三	二〇	五	六	二	二八	〇	四五	七	一一三	〇	二七	五八
二八	七一六		三	二				一四	三			三	
		五一	二二			四	二一	二六		五一	一		四四

モ多キモノヲ舉レハ金錢ニ關スルモノ十七萬四千四百九十五件ニシテ殆ト
 總數十分ノ九ニ當リ其他ノ七部ヲ合シテ僅カニ其一分ニ當ル即チ米穀ニ關
 スルモノ五千六百四十四件土地ニ關スルモノ五千三百四十四件物品ニ關ス
 ルモノ四千三百五十六件証券ニ關スルモノ二千百十八件建物ニ關スルモノ
 五百九十三件人事ニ關スルモノ七百五十九件雜事ニ屬スルモノ五百九十三
 件ニシテ合計一萬九千四百零七件ナリ

其裁判廳ヲ舉レハ高知裁判所ハ最も多ク一萬四千八百十六件京都裁判所ハ
 之ニ次キ一萬四千六百五十二件大坂松本金澤弘前福島長崎ノ六裁判所ハ各
 一萬件余横濱東京ノ兩裁判所ハ各八千件余水戸静岡新潟ノ三裁判所ハ各七
 千件余仙臺裁判所ハ六千件余熊谷名古屋ノ兩裁判所ハ各五千件余熊本裁判
 所ハ三千件余廣島裁判所廣島縣ハ各二千件余函館裁判所ハ千件余舊山口裁
 判所ハ五百件余開拓使ハ二百件余島根縣ハ僅カニ二十一件ニシテ鹿兒島裁
 判所ハ西南驛擾ニ際シ一ノ訴訟ナシ然シテ前年ヨリノ越高ヲ前年ノ未決ニ
 比スレハ二百二十八件ヲ減スルモ亦此驕亂中書類兵燹ニ罹リ件數消滅スル
 ニ由ル

地方裁判所始審ノ判決ニ對シ控訴ヲ爲シタルモノ千五百十三件之ヲ判決

却下

裁許總數(一萬八千五百三十九件)ニ比例セハ百分ノ八一六強ニシテ凡ソ百件ニ
 シテ八件ノ割合ナリ然シテ其判決ヲ見ルニ原裁判ヲ適當ト爲スモノ八百五
 十五件棄却ヲ原裁判ヲ不適當ト爲スモノ百七十八件ナリ控訴ノ上告ニ於ル
 割合ニ比スレハ頗ル少數ニシテ且原裁判ヲ適當ト爲スモノ多シ蓋シ地方裁
 判所ハ許多ノ件數中事理繁難ノ者ハ甚々少シ而シテ其控訴スル者ハ大抵其煩
 難ノ事件ヲ訴フルカ故ニ訴フル所ノ件數ヲ以テ上告ノ件數ニ比較スル片ハ
 上告ノ數多クシテ控訴ノ數少キハ理ノ當ニ然ルヘキモノナリト雖モ控訴ヲ
 爲スニハ道路遠ク費用多キヲ以テ出訴スル能ハサルモノアリ亦控訴ノ格外
 ニ少キ所以ナランカ然ルニ前年ニ比スレハ始審ノ數ヲ減シテ控訴ノ數ヲ增
 加セシハ何ソヤ是レ裁許ノ數前年ヨリ著シク増加セシニ因ルナリ
 右始審裁判ニ關スル各種ノ事件ヲ前年ニ比較シテ其増減ヲ示ス左ノ如シ

民事訴訟		九年件數		十年件數		九年ヨリ	
總數	前年ヨリ越高	増	減	増	減	増	減
三二七、六九〇	五六、二九三	二一七、一七六	四二、四〇四	一一〇、五一四	一三、八八九		

結局訴訟大目	結局區別																			
	内		訴訟却下	願下	席前濟口	席後濟口	裁許	刑事廻	計											
	未決	既決							計	計	計									
人 事																				
土 地																				
建 物																				
金 錢																				
米 穀																				
物 品																				
証 券																				
雜 事																				
計	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八	二八五、〇五八

右結局件數中外國人關涉訴訟外國人ヨリ内國ニ對スル訴訟百三十三件アリ第十七之ヲ前

年ニ比スレハ百九十五件ヲ減ス(前年ハ三百二十六件)前年ノ未決百二十三件

ヲ合セ二百五十四件ハ本年審理スヘキ事件ノ總數ニシテ此中結局ニ至リタ

ル區別左ノ如シ

- 一却下 二十一件
- 一願下 二十三件
- 一席前濟口 三十二件
- 一席後濟口 六十九件
- 一裁許 五十二件
- 一刑事廻 一件

右件數ノ最モ多キハ横濱裁判所長崎裁判所トス東京裁判所ハ之ニ次キ大坂裁判所函館裁判所又之ニ次ク然シテ却下願下席前濟口ノ多キモノハ長崎裁判所裁許席後濟口ノ多キモノハ横濱裁判所ナリ

本年ノ末ニ至リ未タ結局ニ至ラサル事件五十六件アリ之ヲ前年ノ未決件數ニ比スレハ六十七件ヲ減ス(前年ハ百二十三件)然シテ未決ノ最モ多キハ長崎裁判所ニシテ最モ少キハ大坂裁判所ナリ

右結局ニ至リシ訴訟ノ種類ハ金錢ニ關スルモノ最モ多ク總數十分ノ七五二強物品ニ關スルモノ總數十分ノ一八二弱其他各種ノ訴訟ヲ合シテ總數十分ノ〇六六弱ナリ

右判決ニ對シ控訴ヲ爲スモノ十三件之ヲ判決却下總數七十三件ニ比例セハ十分ノ一七八強ニ當ル然シテ其控訴ノ結果ヲ見ルニ願下一件棄却二件原裁判ヲ適當ト爲スモノ四件原裁判ヲ不適當ト爲スモノ六件ナリ内國人ノ控訴ニ比スレハ原裁判ヲ不適當ト爲スモノ太タ多シ蓋シ訴訟ノ盤錯ナルニ因リ此ノ結果ヲ見ルモノニ似タリ今試ニ内國人ヨリ外國人ニ對スル訴訟ノ景況ヲ示ス左ノ如シ

本年内國人ヨリ外國人ニ係リ我カ開港開市場ニ在ル各國領事廳へ出訴セシ件數ハ新舊合シテ百五十三件ニシテ此中結局ニ至リタル區別ハ却下二件願下十七件示談五十四件ナリ

右判決ノ結果ヲ見ルニ曲トナルモノ九件ニシテ直トナルモノ四十五件ナリ之ヲ判決却下ノ數モ總數ニ比例セハ直トナルモノ十分ノ八〇四弱ニ當ル而シテ控訴ノ多少ト其判決ノ結果ハ材料備ハラサルヲ以テ之ヲ知ルニ由ナシ又外國人ニ關涉スル訴訟ノ結果ヲ前年ニ比較スル左ノ如シ

結局訴訟大目	結局區別											總數		九年	増	減			
	人	建	金	米	物	計	刑	裁	席	席	願	却	未				既	本年	前年
四一	三	一八三	九	〇	二二七	〇	五八	八七	三四	一四	四四	一一三	二二七	三二六	三四	二五九	八九	一〇六	
三六	〇	一四九	三	一	一九八	一	五二	六九	三三	二二	二一	五六	一九八	一一三	一一三	八	一	三	
五	三	三四	六	一	三九	一	六	一八	二	九	二二	六七	三九	一九五	一九五	一	一	一	

証券	〇	一	一
雜事	一	八	七
計	二二七	一九八	三九

各地方裁判所ニ於テ本年結局ニ至リシ訴訟總數 十九萬四千四百二十件 中金錢ニ關スルモノ十七萬四千六百五十七件 總結局件數十 金額千四百八十四萬九千六百六十四圓三十錢一厘ナリ 第二十表見合之ヲ前年ニ比スレハ件數ハ六萬零八百十九件金額ハ二百九十四萬三千零四圓二十五錢九厘ヲ減ス(前年ハ二十三萬五千四百七十六件金額千七百七十九萬二千六百八十八圓五十六錢)之ヲ平均スレハ一件八十五圓零一錢九厘ニ當ル前年ヨリ増ス丁九圓四十六錢九厘ノ割合ナリ(前年ハ七十五圓五十五錢余)

今各廳金錢ニ關スル結局件數ヲ總結局件數ニ其金額ヲ總金額ニ金錢貸借結局件數ヲ金錢ニ關スル結局件數ニ比例スル左ノ如シ

廳名	結局件數	金錢ニ關スル結局件數	結局件數十分ノ率	金額	總金額十分ノ率	金錢ニ關スル件數一件平均ノ額	金錢貸借結局件數	金錢ニ關スル結局件數十分ノ率
東 京	八、二一五	七、七一九	九四〇弱	一、二九五、七三七、一五七	〇八七三弱	一六七、八六三	四九三一	六三九弱
横 濱	八、二六四	七、八四四	九四九強	七、二八六、八四四、六	〇四八四弱	九一、六二〇	六、九五二	八八六強
水 戸	七、一五〇	六、六六三	九三二弱	三、四三〇、一〇二	〇二三一強	五、四九三	六、二一〇	九三二強
熊 谷	五、六〇八	五、三一四	九四八弱	二、九〇、八二七、七八九	〇一九六弱	五、四七二九	四、八〇六	九〇四強
名 古 屋	五、四七七	四、八三一	八八二強	五、一三三、三六四、五九四	〇三四六弱	一〇、六二六五	四、二九〇	八八八強
靜 岡	七、二一〇	六、七四一	九四七弱	四、九五、六四六、六三二	〇三三四弱	七、三、五二七	六、一〇七	九〇六弱
新 潟	七、二一〇	六、〇八三	八五二弱	五、二〇、二四八、八六二	〇三四四弱	八、三、八六五	五、〇〇五	八二三弱
松 本	一〇、五四四	九、九三七	九四二強	八、五二、二四一、二五三	〇五七四弱	八、五、七六四	九、〇〇一	九〇六弱
京 都	一四、六五五	一三、三六五	九一二弱	八、九三〇、一六六、五四	〇六〇一強	六、六、八一八	一〇、〇〇二	七四八強
大 坂	一〇、六九三	九、四八〇	八八六強	一、九〇三、六六四、九四九	一二八二強	二〇〇、八〇九	七、一五五	七五五弱
神 戶	一二、四八九	一一、二四四	九〇〇強	一、三三六、〇六三、一六一	〇九〇〇弱	一一、八、二四	八、八一九	七八四強
金 澤	一〇、二三四	九、一一一	八九一弱	五、九四、〇三三、〇九四	〇四〇〇強	六、五、二〇〇	七、七二三	八四八弱

合 計	開 拓 使	熊 本	長 崎	函 館	福 島	仙 臺	弘 前	廣 島	松 江	高 知	松 山
一九四、四二〇	二七〇	三、二二四	一〇、三一一	一、三〇九	一〇、一二六	六、三六六	一〇、二六八	五、三六八	一三〇、三〇〇	一四、八一六	一、七五二
一七四、六五七	二五六	二、七九四	九、一一〇	一、一七九	九、二九九	五、六六三	八、二八七	四、一九五	一、二〇、〇五	一、二、七七〇	一〇、八一七
	九四八強	八六七弱	八八五弱	九〇一弱	九一二強	八九〇弱	八〇七強	七一八強	九二一強	八六二弱	九二〇強
一四、八四九、一六四、三〇一	二六、九〇八、四二二	一五五、六二九、八七〇	六〇九、九六〇、三三二	九四、〇八〇、一九五	三四〇、〇八三、九八三	四二六、二八四、一〇八	二八五、一六二、〇五一	二六六、九三七、三六一	一、二、一、五七五、八四八	九五〇、一三三、五一一	八二五、九一六、〇四〇
	〇〇一八強	〇一〇五弱	〇四一一弱	〇〇六三強	〇二二九強	〇二八七強	〇一九二強	〇一八〇弱	〇七五五強	〇六四〇弱	〇五五六強
八五〇一九	一〇、五一一	五五、七〇一	六六、八八二	七九、七七七	三六、八〇九	七五、二七五	三四、四一一	六三、六三二	九三、四二六	七四、四〇二	七六、三五四
一四三、〇七二	二一五	二、〇六五	六、九三六	八六三	七、〇六五	四、九一四	七、四二〇	三、四三七	一〇、〇六四	一〇、六五三	八、四三九
八一九強	八四〇弱	七三九強	七六一弱	七三二弱	七六五弱	八六八弱	八九五強	八一九強	八三八強	八三四強	七八〇強

今又各地方裁判所金銭ニ關スル訴訟ヲ比較スレハ京都高知松江神戸ハ其件數最モ多ク熊本函館開拓使ハ其件數最モ少シ而シテ千圓以上ノ訴訟ハ大坂東京神戸京都ヲ以テ多シトス左ニ比較表ヲ掲ク

應 名 階 級	金 額	東 京	橫 濱	水 戸	熊 谷	名 古 屋	靜 岡	新 潟	松 本	京 都
以下	五圓	一七〇三	一一八〇	八〇九	五四九	四四二	六七一	九六一	八〇一	三一七三
以上	十圓	一一二一六	一、六六六	一、一三四	九九一	六四七	一、一四六	九三六	一、四〇六	二、二八一
以上	廿圓	八三五	一、八五七	一、四八五	一、三三九	八一六	一、四〇七	一、二二五	一、八七七	二、三一二
以上	五十圓	一、四二二	一、八五六	一、七九三	一、三六七	一、〇五三	一、五八六	一、二六〇	二、三七八	二、四六八
以上	百圓	九五八	五九三	八九〇	五二〇	八二〇	九八九	七九三	一、五三六	一、三八三
以上	五百圓	一一、一九五	五五九	四八九	四六八	八九八	八三五	八六二	一、八六三	一、四六一
以上	千圓	一九九	七一	四四	四四	一〇三	六七	九三	一八五	一八五
以上	一萬圓	一八一	五五	一六	三六	四九	三七	五二	七一	一〇一
以上	二萬圓	五	三	三	三	三	三	一		一
以上	五萬圓	四	四							
不詳	金額									
計		七七一九	七八四四	六六六三	五、三一四	四、八三一	六、七四一	六、〇八三	九、九三七	一、三、三六五

静岡	七八七	一一、六七七強	一六九、三三三、七三三	二五、一一〇	五〇、五四三、二五四	二九八四八強
新潟	二三六	三八八弱	一一六、七六七、七七七	一九、一九六	一一三、四一七、〇三	一〇、五六九強
松本	二五八	二六〇弱	七五、六一六、九八二	七、六一〇	一〇、六五〇、八〇八	一四、〇八五強
京都	五〇七	三七九強	一四六、〇三三、六六五	一〇、九二六	二二、九二五、二六一	一五、〇一五弱
大坂	八二六	八七一強	七九〇、一六七、五八五	八三、三五五	一四六、五五五、六六八	一八、五四七強
神戸	一、一八三	一〇、五二強	四八七、七九〇、六九	四三、三一九	一一三、三四九、〇六三	二二、二七一強
金澤	四五八	五〇三強	一〇四、〇七三、〇八	一一、四二三	一四、四五七、五七九	一三、八八九強
松山	六四〇	五九二弱	一九〇、〇二九、三二七	一七、五六八	二六、二九七、〇五三	一三、八三八強
高知	六一三	四八〇強	一一七、七一一、二〇九	九、二一八	一九、四七三、四六一	一六、五四三強
松江	五四七	四五六弱	一九四、七八一、二七六	一六、二二五	二七、九四九、八八八	一四、三四九強
廣島	四三五	一〇、三七弱	一一六、四〇九、二五三	二七、七五〇	一四、四六八、七九	一一、二五三弱
弘前	七八〇	九四一強	六九、四八三、二四七	八、三八四	六、〇五一、七九五	八、七一〇弱
仙台	三五九	六三四弱	八九、五四五、七六七	一五、八一二	一一、二六八、九五八	一三、七〇一強
福島	二四五	二六五強	五二、一九九、五五二	五、六五〇	二九、一二七	三一、三六九強
合計	一〇、八三一	三一三弱	三、六九一、五四七、九五八	五、六五四	六三、四〇八、八二六	一七、一七七弱

勸解 第二十表

函館	三六	三〇五強	七二〇、三三、三八	六、一一〇	二〇、八四三	二、八九四弱
長崎	四七二	五一八弱	一一〇、四二五、三三	一四、三〇一	二二、〇七三、六一五	一六、九二四強
熊本	一六七	五九八弱	三二、四一四、九七七	一一、二四四	四六、四三六、〇七	一四、七八二弱
開拓使	八	三一三弱	一六三四、一八六	六、三八四	八二九、〇五四	五〇、七三二弱
合計	一〇、八三一	三一三弱	三、六九一、五四七、九五八	五、六五四	六三、四〇八、八二六	一七、一七七弱

本年各廳受ル所ノ勸解ノ數六十五萬八千八百七十二件之ニ前年ノ殘件一萬六千五百五十七件ヲ合セテ六十七萬五千零二十九件ナリ 第二十表見合之ヲ前年ニ比スレハ四十九萬四千五百六十六件ヲ増加セリ〔前年ハ十八萬零四百六十三件〕此中結局ニ至リタルモノ六十五萬五千五百五十件ニシテ其區別左ノ如シ

一却下

千零四十六件

一願下

十七萬零六百十六件

一勸解調フタルモノ

四十三萬九千九百七十九件

一 勸解不調

四萬三千三百五十八件

一 刑事事廻

百十五件

右結局ノ區別ヲ總數ニ比例セハ勸解調ヲタルモノ十分ノ六五二弱勸解不調十分ノ〇六四強願下ハ十分ノ二五三却下ハ十分ノ〇〇二弱刑事廻ハ十分ノ〇〇〇二二強ニシテ即チ万分ノ二二余ニ過キス本年ノ終リニ至リ尙ホ一萬九千八百七十九件ノ未決アリ即チ總數十分ノ〇二九強ニ當ル

勸解件數ノ最モ多キモノハ東京裁判所大坂裁判所神戸裁判所ニシテ八萬二千件ヨリ八萬八千件ノ間ニアリ之ニ次テ多キモノハ名古屋裁判所ニシテ六萬八千件余京都裁判所静岡裁判所ハ各四萬件余水戸裁判所ハ三萬件余松本裁判所高知裁判所松江裁判所ハ各二萬件余横濱裁判所新潟裁判所金澤裁判所ハ一萬七千件ヨリ一萬九千件ノ間ニ出入シ熊谷裁判所松山裁判所廣島裁判所長崎裁判所ハ各一萬四五千件ノ間ニアリ仙臺裁判所ハ一萬件ヲ出ル僅カニ千六百件余ニシテ福島裁判所ハ九千件余熊本裁判所ハ八千件余弘前裁判所ハ六千件余函館裁判所ハ二千件余ニシテ開拓使ハ六百件余鹿兒島裁判所ハ僅カニ二十九件アリ但シ同所ハ西南騷亂ノ際賊巢ニ係リ一ノ訴訟ナキ

ハ既ニ本訴ノ部ニ述ルカ如シ今此勸解ノ僅カニ在ルモノハ多ク都城宮崎等ニテ取扱タル件數ナリ

勸解件數此ノ如ク差異アリト雖昨前年ニ比スレハ較平均ヲ得ルモノニ似タリ即チ東京裁判所ノ件數ハ前年總數十分ノ四ナリシニ本年ハ凡ソ八分ノ一ニ當リ大坂裁判所件數ハ前年東京裁判所件數ノ七分ノ一ニ過キサリシモ本年ハ殆ト之ニ匹敵シ其他ノ裁判所モ件數非常ニ増進シ前年ニ比スレハ多キハ七萬件余少キモ五百件ニ下ラス蓋シ勸解ノ事務タル前年各地方共既ニ之ヲ閱クト雖昨日尙ホ淺ク人民未タ其便益ヲ知ラサリシニ本年ニ至リ漸ク之ヲ辨知スルノ致ス處ナラン乎

茲ニ勸解ノ結果及ヒ各廳件數ヲ前年ニ比較シテ其増減ヲ示ス左表ノ如シ

勸 解	總 數	九 年 件 數		十 年 件 數		九 年 ヨ リ
		增	減	增	減	
内	前年ヨリ越高	一八〇、四六三	六、一三四	六七五、〇二九	一六、一五七	一〇、〇二三

青森	仙臺	福島	琉球藩	廣島	松江	高知	松山	金澤	神戶	大坂	京都	松本	新潟	静岡	水戸	名古屋	熊谷	横濱
二、五七六	四、九二九	三、一三八		三、三五一	四、九四二	〇	三、四七一	六三一	七、〇九〇	一三、〇六八	九、九二二	六、八六二	六、九四二	五、三八八	八、八八六	六、九五〇	四、四五四	八三八
五、〇九六	一〇、六四六	九、三〇七	二	一三、九六七	二四、〇四六	二二、三三七	一四、四三六	一九、二一四	八一、九九七	八七、〇一二	四四、一六三	二四、二一五	一八、三五五	四二、〇五九	三三、六三一	六七、七八五	一四、九〇五	一六、九四〇
二、五二〇	五、七一七	六、一六九	二	一〇、六一六	一九、一〇四	二二、三三七	一〇、九六五	一八、五八三	七四、九〇七	七三、九四四	三四、二四一	一七、三五三	一一、四一三	三六、六七一	二二、七四五	六〇、八三五	一〇、四五二	一六、一〇二

東京	應名	勸解	兩年比較九年コリ	
			增	減
七〇、九六六	九年新訴件數	十年新訴件數	八四、三六八	一三、四〇二

結局區別	内		本年新訴
	未決	既決	
計	一六三、三四六	一七四、三二九	六五八、八七二
刑事廻	一三四	一七、一一七	四八四、五四三
全不調	五、九六二	一七、一一七	四九一、八〇四
勸解調	一一四、九九三	一七、一一七	二、七六二
願下	四一、七九六	一、〇四六	五八五
却下	四六一	一九、八七九	
計	一六三、三四六	一七四、三二九	六五八、八七二
刑事廻	一三四	一七、一一七	四八四、五四三
全不調	五、九六二	一七、一一七	四九一、八〇四
勸解調	一一四、九九三	一七、一一七	二、七六二
願下	四一、七九六	一、〇四六	五八五
却下	四六一	一九、八七九	

表一第事民

院審大

ス照對ニ所判裁原以ヲ別區局結告上

甲印ハ總テ外國人交渉ニ係ル	所判裁原				廳名
	長崎上等裁判所	宮城上等裁判所	大坂上等裁判所	東京上等裁判所	
合計	二	八	六五	一九九	數總告上
二八三	七	四	二二	九四	高越リヨ年九
二七	四	四	四三	一〇五	訴新年本
一四			四	一〇	下願結
七〇	三	二	一三	五二	却棄局
一八	一	一	五	二	毀破別
一〇二	四	三	二二	七三	計合未
一八一	七	五	四三	二六	決

表二第事民

ス照對ニ間時局結以ヲ別區局結告上

甲印ハ總テ外國人交渉ニ係ル	結局時間									
	三年以下	二年以下	一年以下	六月以下	三月以下	二月以下	一月以下	十日以下	即日	合計
	一〇	三〇	四二	一〇	一	一	四	九	四	數總告上
	一四	四	四	三		一	二			下願結
	七〇	一三	三五	六	一		二	九	四	却棄局
	一八	一	三	一						毀破別

合計	開拓使	鹿兒島	熊本	長崎	函館
一七四、三二九	一七七	三三五	一、五五七	七、〇三五	六〇四
六五八、八七二	六八四	二九	八、五四八	一三、九八一	二、一四九
四八四、五四三	五〇七		六、九九一	六、九四六	一、五四五
		三〇六			

表五第事民

所判裁等上

ス照對ニ訴控告初ノ應各以ヲ別區局結

甲印ハ總テ外國人交渉ニ係ル	應名拜訴訟區別														
	長崎			宮城			大坂			東京			總 前 年 本 年		
	初 告	控 訴	合 計	初 告	控 訴	合 計	初 告	控 訴	合 計	初 告	控 訴	合 計			
一七二	一五	一七	一八	一〇二	六	一〇八	七六	七	八三	八六	八二	一八八	六	一〇	一六
二六二	三八	三三	六	二五	二二	四七	五五	一九	二一	七四	七〇	一四四	一	一	二
四三三	五三	五〇	一四	四七	一七	六四	三二	二六	四	七四	七二	一五二	二	二	四
七〇五	九一	八八	二四	七二	三九	一一一	六七	五二	三〇	九六	九二	一八八	三	三	六
九七七	一四〇	一三六	三八	一一九	五八	一七七	一〇四	八七	六四	一六八	一六四	三三二	五	五	一〇
一三〇	二六	二五	三	三六	三	三九	四	四	〇	四	三	一七	〇	〇	〇

表六第事民

ス照對ニ別區局結ノ應各以ヲ間時局結告初訴控

甲印ハ總テ外國人交渉ニ係ル	時間區別													
	裁 棄 願 許 却 下	長崎			宮城			大坂			東京			日 即
		通 計	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下	裁 棄 願 許 却 下		
二	二	三	三	二	一	二	九	二	二	二	一	一	日	
六	六	八	八	四	四	四	五	八	二	二	二	二	下以日十	
二〇	二〇	二五	二五	九	九	九	一五	一四	七	七	七	二	下以月一	
三二	三二	三九	三九	一	一	二	二七	二四	一〇	一〇	九	二	下以月二	
四四	四四	五二	五二	二	二	二	三九	三六	一七	一七	一六	二	下以月三	
五六	五六	六四	六四	三	三	三	五〇	四七	二八	二八	二七	三	下以月六	
六八	六八	七六	七六	四	四	四	六一	五八	三九	三九	三八	四	下以年一	
八〇	八〇	八八	八八	五	五	五	七二	六九	五〇	五〇	四九	五	下以年二	
九二	九二	一〇〇	一〇〇	六	六	六	八三	八〇	六一	六一	六〇	六	上以年二	
一〇四	一〇四	一一二	一一二	七	七	七	九四	九一	七二	七二	七一	七	計通	

民 事 第 七 表

初 告 結 局 區 別 以 訴 訟 細 目 對 照

件 目	初 告 總 數	願 下	棄 却	裁 許
人事	1			
家督相續	1			
養子離別	1			
戶籍關事	1			
土地所有	1			
地境界	1			
地所賣買	1			
地所管入	1			
開地關事	1			
道路關事	1			
用水關事	1			
鑛山關事	1			
金全錢借	1			
預金貸借	1			
立替金	1			
受負金	1			
債金	1			
賣代金	1			
地代金	1			
家賃	1			
給金	1			

租稅	訴訟	米穀	小作	物品	預物	家祿	調印	精算	裁判	代言	曲庇	印鑑
入費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

表拾第事民

ス照對ニ所判裁原以ヲ別區局結及目件訴控

廳名	件目						願判決
	人事	土地建物	金錢	米穀物品	証券雜事	下棄却	
司法省裁判所	1						
東京裁判所	17	3	3	3	3	2	1
橫濱裁判所	7	2	2	2	2	1	1
水戸裁判所	8	3	3	3	3	2	1
熊谷裁判所	5	3	3	3	3	2	1
名古屋裁判所	3	3	3	3	3	2	1
靜岡裁判所	2	3	3	3	3	2	1
新潟裁判所	2	3	3	3	3	2	1
松本裁判所	2	3	3	3	3	2	1
函館裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元神奈川裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元千葉裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元茨城裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元埼玉裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元山梨裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元浦和裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元愛知裁判所	1	3	3	3	3	2	1
元靜岡縣	1	3	3	3	3	2	1
元愛知縣	1	3	3	3	3	2	1
元長野縣	1	3	3	3	3	2	1
元三重縣	1	3	3	3	3	2	1
元岐阜縣	1	3	3	3	3	2	1
元滋賀縣	1	3	3	3	3	2	1
元筑摩縣	1	3	3	3	3	2	1
元濱松縣	1	3	3	3	3	2	1
計	539	200	171	190	260	107	216

廳名	件目						願判決
	人事	土地建物	金錢	米穀物品	証券雜事	下棄却	
京都裁判所	5	1	1	1	1	1	1
大坂裁判所	28	7	7	7	7	5	4
神戶裁判所	8	2	2	2	2	2	2
金澤裁判所	2	1	1	1	1	1	1
松山裁判所	2	1	1	1	1	1	1
高知裁判所	1	1	1	1	1	1	1
松江裁判所	1	1	1	1	1	1	1
廣島裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元山口裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元岩國裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元堺縣	1	1	1	1	1	1	1
元滋賀縣	1	1	1	1	1	1	1
元石川縣	1	1	1	1	1	1	1
元鳥取縣	1	1	1	1	1	1	1
元島根縣	1	1	1	1	1	1	1
元岡山縣	1	1	1	1	1	1	1
元廣島縣	1	1	1	1	1	1	1
元和歌山縣	1	1	1	1	1	1	1
元高知縣	1	1	1	1	1	1	1
元愛媛縣	1	1	1	1	1	1	1
元敦賀縣	1	1	1	1	1	1	1
元名東縣	1	1	1	1	1	1	1
元香川縣	1	1	1	1	1	1	1
元弘前裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元仙臺裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元福岡裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元函館裁判所	1	1	1	1	1	1	1
元宮城裁判所	1	1	1	1	1	1	1
計	56	15	15	15	15	15	15

表一拾第事民

所判裁方地

ス照對ニ名廳各以ヲ別區局結

廳名	總數		結局區別		廢廳等 未決
	前年	本年	願下	合計	
東京	九六七	二〇九七	二八六	二八	二〇七二
橫濱	一一五四	二〇八〇	一七四三	四	二〇八四
水戸	七六三	二一〇	一七九九	四	二〇九〇
熊谷	五八三九	五三四	一五五〇	二七〇	六八七
名古屋	五七五〇	一九六三	一五三三	一一	二二一
静岡	七四六九	二四六六	一三九六	一一	二七三
新潟	七九六	八九二	四〇一	二八七	三〇九
松本	二〇七五	二〇五	一〇一六	五三九	一〇七
計	六六〇〇	二二四七	一三三三	二二五九	五二
京都	一五三三	二九六二	三〇二七	一九三	五七八
大阪	一九〇	三六六	一一二	四六	二五五
神戸	一三三九	五九〇	一五五八	九七八	八七〇
金澤	二六二	一三〇	一七三三	二五九	一三三七
松山	三〇六八	一七五〇	二〇六五	一〇二	一三二六
愛媛	六二	六二	二〇	二	六二
高知	一五九三	一八八七	一五三三	四九	一一一五
松江	一四五一	二五〇八	一九七〇	六四二	一五七五
島根	六九	一一	一〇	九	八
廣島	三五八	一三三七	六二八	二〇六	九八〇
山口	六二	二八	一六	三	一一三
計	二九元	三八八	二七二	五二	九八〇

廳名	總數		結局區別		廢廳等 未決
	前年	本年	願下	合計	
廣島縣	一〇〇二	二〇一一	一四四	二六	一〇二八
弘前	一八七	二二九	一三三	一六	一四九
仙臺	七五二	一七三八	一〇〇	一〇	一〇一〇
福島	一七四九	一八八五	一三〇	一三	一八六二
計	二八七	一三三	一三三	一三	二八七
長崎	二八三	二二七	一七	二	二八三
熊本	三六〇	三九八	二五	二	三六二
計	一五三三	四三三	一〇	一〇	一五三三
拓使	二九五	二二	二九	二	二九七
計	二九五	二二	二九	二	二九七

廳名中鹿兒嶋裁判所ヲ掲ケサル者ハ西南騷亂ノ際該縣賊巢ニ係ルヲ以テ全年民事ノ審判ナキニヨル以下第二十二表ノ外亦皆之ニ倣フ
又前年ヨリ越高ノ件數前年ノ未決ニ比スレハ二百廿八件ヲ減スル者ハ鹿兒嶋同上ノ事件ニヨリ前年ノ殘件九十一件自ラ消滅シ且熊水前年殘件ノ内中津區廳ノ百三十七件亦本年賊徒亂入ノ際書類悉ク兵燹ニ罹リ今知ルニ由ナキニヨル
愛媛縣島根縣ハ三月山口裁判所廣島縣ハ五月ニ至リ始テ訴訟件ヲ送附セシヲ以テ其已前ニ係ルモノハ皆之ヲ各廳ニ屬シテ掲記ス

表二十第事民

※照對ニ目細訟訴以ヲ別區局結審初

件目	總數		前年		本年		他處		結局區別		廢廳 等三付未決 他移
	數	ヨリ	數	ヨリ	數	ヨリ	數	ヨリ	訴狀下願下席調濟席裁許刑事總合計		
家事相續	17	1	17	1	17	1	17	1	17	1	17
後見	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3
養子	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
妻取戻	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4
子女取戻	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5
分家取戻	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
戶籍關スル事	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
土地所有	296	79	296	79	296	79	296	79	296	79	296
地所境界	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4
地所賣買	86	17	86	17	86	17	86	17	86	17	86
地所貸借	9	1	9	1	9	1	9	1	9	1	9
預ケ地所	28	6	28	6	28	6	28	6	28	6	28
地所書入	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5
地所貸入	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6
開墾地關スル事	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4
道路關スル事	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4
河水關スル事	7	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7
用水關スル事	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
鑛山	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

件目	總數		前年		本年		他處		結局區別		廢廳 等三付未決 他移
	數	ヨリ	數	ヨリ	數	ヨリ	數	ヨリ	訴狀下願下席調濟席裁許刑事總合計		
伐木	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5
秣場	649	176	649	176	649	176	649	176	649	176	649
家屋賣買	53	9	53	9	53	9	53	9	53	9	53
家屋貸借	64	12	64	12	64	12	64	12	64	12	64
建物	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3
預ケ家屋	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雜事	57	2	57	2	57	2	57	2	57	2	57
計	1279	218	1279	218	1279	218	1279	218	1279	218	1279
金貸借	1685	321	1685	321	1685	321	1685	321	1685	321	1685
預金	1595	336	1595	336	1595	336	1595	336	1595	336	1595
年賦金	179	14	179	14	179	14	179	14	179	14	179
立替金	76	1	76	1	76	1	76	1	76	1	76
爲替金	206	3	206	3	206	3	206	3	206	3	206
受負金	133	1	133	1	133	1	133	1	133	1	133
手據金	382	5	382	5	382	5	382	5	382	5	382
証據金	87	1	87	1	87	1	87	1	87	1	87
償賦金	65	1	65	1	65	1	65	1	65	1	65
割賦金	211	1	211	1	211	1	211	1	211	1	211
賣代金	300	5	300	5	300	5	300	5	300	5	300
地代金	311	5	311	5	311	5	311	5	311	5	311
家賃	487	8	487	8	487	8	487	8	487	8	487
敷金	168	4	168	4	168	4	168	4	168	4	168
雇賃	214	4	214	4	214	4	214	4	214	4	214
給金	166	1	166	1	166	1	166	1	166	1	166

前ヨリ續ク

件目	東京上等裁判所		大坂上等裁判所		官城等裁判所		長崎等裁判所		開合
	京濱戸谷屋岡海木計	東横水魚名静新松計	都阪戸澤山知江縣島口縣計	京大神金松高松島廣山島廣計	前臺島館計	弘仙福函計	崎水計	長崎等裁判所	
損料	511	110	211	211	63	4	19	211	799
藥料	8	1	1	1	1	1	1	1	2
止宿並賄料	1	1	1	1	1	1	1	1	2
酒食料	1	1	1	1	1	1	1	1	2
藝娯效揚代金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
租税金	100	7	100	100	100	100	100	100	400
區入費	1	1	1	1	1	1	1	1	2
訴訟入費	1	1	1	1	1	1	1	1	2
代書代言料	1	1	1	1	1	1	1	1	2
會社金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
講金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
小作金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
養育金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
引負金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
取込金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
授業料	1	1	1	1	1	1	1	1	2
罰金不納	1	1	1	1	1	1	1	1	2
娯妓稼金	1	1	1	1	1	1	1	1	2
米穀	1	1	1	1	1	1	1	1	2
米穀賣買	1	1	1	1	1	1	1	1	2
米穀貸借	1	1	1	1	1	1	1	1	2
預ク米穀	1	1	1	1	1	1	1	1	2
小作米	1	1	1	1	1	1	1	1	2

物品	計		計		計		計		開合
	養育米	貢租米	立替米	爲替米	年賦米	割賦米	債米	講米	
物品賣買	100	100	100	100	100	100	100	100	400
物品貸借	100	100	100	100	100	100	100	100	400
預ク物品	100	100	100	100	100	100	100	100	400
抵當物品	100	100	100	100	100	100	100	100	400
橫取物品	100	100	100	100	100	100	100	100	400
質入物品	100	100	100	100	100	100	100	100	400
証券	100	100	100	100	100	100	100	100	400
証券	100	100	100	100	100	100	100	100	400
家祿	100	100	100	100	100	100	100	100	400
公債証券	100	100	100	100	100	100	100	100	400
雜事	100	100	100	100	100	100	100	100	400
受負違約	100	100	100	100	100	100	100	100	400
訴訟清口違約	100	100	100	100	100	100	100	100	400
調印差拒	100	100	100	100	100	100	100	100	400
帳簿一覽差拒	100	100	100	100	100	100	100	100	400

前ヨリ續ク

件目	精算差拒										
	營業差拒	家畜賣買	家畜貸借	預々家畜	船舶賣買	船舶貸借	預々船舶	出版	裁判執行	印鑑取戻	村中約定破談
東京上等裁判所	東京	横水	熊谷	名古	靜新	松					
大坂上等裁判所	京都	大坂	神戶	金澤	山知	江松	根縣	鳴島	廣山	舊廣	
宮城上等裁判所	前臺	弘仙	嶋福	函							
長崎等裁判所	崎水	長熊									
開拓使											
合計	一八二	一九一	一〇一	一五五	五〇	二九	一一	一一	二	二	一
合計	一八二	一九一	一〇一	一五五	五〇	二九	一一	一一	二	二	一

表七拾第事民

※照對ノ名廳目件ヲシ出抽ヲ數件局結涉關人國外

裁艇營精調受
判船業算印頁雜
執責差差差違事
行買拒拒拒約

合
計

二八

一八

六〇

一五

一八

五九

一九八

証 抵預物物 引講訴損給雇家賣債手受爲立年預金 家 子
券証當々品品物員金訟料金賃賃代金金員替替月々錢金屋建女人
券物物貸賣品金 八 金 金 金 賦 金 貸 錢 貸 物 取 事
品 品 借 買 費 金 金 金 賦 金 貸 錢 貸 物 取 事
品 品 借 買 費 金 金 金 賦 金 貸 錢 貸 物 取 事

件
目

東京
大坂
橫濱
神戶
函館
長崎
合計

二	一	三	四	一	二	一	五													
六						一	三			七										
一	一	一	一	一	二	六	六	一	一	一	三	三	八							
一	一												七							
	七																			
一	五																			
三	二																			

表九拾第事民

ス照對ニ名廳以ヲ別區局結同

長 崎	函 館	神 戶	横 濱	大 坂	東 京	廳 名	受調精營船裁		雜 員 印 算 業 船 判	事 違 差 差 賣 執	約 拒 拒 買 行	合 計
							受調	精營				
二	五	四	七	九	二	八	二	三	六	四	二	〇
二	二	八	一	一	三	五	三	三	二	二	三	二
三	三	八	二	四	二	六	三	三	二	三	三	三
三	二	二	二	一	〇	三	四	六	六	六	六	六
六	九	二	二	一	〇	三	四	六	六	六	六	六
三	三	五	三	四	二	七	七	六	六	六	六	六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	九	八	五	一	八	二	二	二	二	二	二	二
五	六	〇	一	八	四	二	二	二	二	二	二	二

表八拾第事民

ス照對ニ目件以ヲ別區局結同

証 券	抵預	物物	引講	訴損	給雇	家賣	償手	受為	立年	預金	家	子	人	事	取	物	貸	錢	貸	借	借	戻	件 目
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	總 數
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	却 下 願
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	結 局
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	下 席 前 濟 口
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	後 濟 口
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	裁 許
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	刑 事 廻
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	計
二	一	一	四	二	二	二	三	一	二	六	二	四	二	三	一	八	九	六	八	三	一	一	未 決

廳名

新瀉區	新發田區	高田區	長岡區	相川區	六日町區	柏崎區	糸魚川區	村上區	木上區	長野支廳	上田支廳	岐阜支廳	長野支廳	飯田區	松本區	岐阜區	上田區	御嶽區	高山區	水戶支廳	大津支廳	宮津支廳	
以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下
五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金
高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計
件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數

京	都	大	坂	神	戶	富山支廳	福井支廳	木上區	玉嶋區	津山區	豐岡區	篠山區	洲木區	阿山支廳	姫路支廳	水戸支廳	五條區	田邊區	奈良區	天王寺區	堂嶋區	和歌山支廳	堺支廳	本庄支廳	小濱區	宮津區	大津區	京都區	海津區	彦根區	伏水區	園部區	
以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下
五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上	五圓以上
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金	合計金
高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計	高合計
件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數	件數

廳名	處分件數計		訴訟件數計		債主人員計		負債高計		償還高計		同上負債額ニ比シ百分ノ率		同上負債額ニ比シ百分ノ率	
	件數	分數	件數	分數	人員	負債高	償還高	百分ノ率	償還高	百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率
福岡支廳	112	112	287	287	151	5,500,000	6,000,000	109	109	109	109	109	109	
長崎支廳	11	11	4	4	11	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100	100	100	
佐賀支廳	68	68	57	57	87	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100	100	100	
福江支廳	2	2	68	68	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
唐津支廳	2	2	5	5	5	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
久留米支廳	2	2	2	2	2	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
平戸支廳	1	1	2	2	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
嶋原支廳	1	1	2	2	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
小倉支廳	2	2	2	2	2	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
本支廳	1	1	2	2	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
大分支廳	2	2	2	2	2	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
八代支廳	7	7	9	9	7	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
佐伯支廳	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
大豆田支廳	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
大分支廳	5	5	7	7	5	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
町分支廳	3	3	4	4	3	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
中山支廳	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
中津支廳	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
山鹿支廳	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
熊本支廳	3	3	5	5	3	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
竹田支廳	2	2	5	5	2	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
開拓使	8	8	1	1	8	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
合計	108	108	161	161	161	1,600,000	1,600,000	100	100	100	100	100	100	

相川支廳處分件數及人員ハ其被告人相川區裁判所ノ處分ニ係ルヲ以テ共記入セス

前表中ニ就テ特ニ外國人關涉事件ヲ抽出スル左ノ如シ

廳名	處分件數計		訴訟件數計		債主人員計		負債高計		償還高計		同上負債額ニ比シ百分ノ率		同上負債額ニ比シ百分ノ率	
	件數	分數	件數	分數	人員	負債高	償還高	百分ノ率	償還高	百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率	同上負債額ニ比シ百分ノ率
橫濱裁判所	6	6	4	4	6	1,000,000	1,000,000	100	100	100	100	100	100	
大坂裁判所	1	1	1	1	1	100,000	100,000	100	100	100	100	100	100	
函館裁判所	4	4	3	3	4	1,000,000	1,000,000	100	100	100	100	100	100	
長崎裁判所	2	2	3	3	2	1,000,000	1,000,000	100	100	100	100	100	100	
合計	13	13	11	11	13	3,000,000	3,000,000	100	100	100	100	100	100	

第三編刑事綜計表要旨

罪犯ノ總數及處斷區別

自第一表
至第九表

本年全國中常事犯罪ノ處斷ヲ受ケタル者ハ 第一表 八萬九千二百二十二人 對スル 罪犯ニ對スル罪犯六萬四千三百零三人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ二萬二千五百零七人ヲ減ス 凡ソ十分ノ二ヲ減セシ割合ナリ 猶ホ之ヲ細別スレハ全免減等無料呵責ノ三項ヲ合シ其減少四千五百六十八人 前年ハ一萬六千六百零六人本年ハ一萬二千零三十九人 懲役十日以上百日以下ノ減少一萬九千百十人 前年ハ九萬千六百四十七人 本年ハ七萬二千四百四十七人 懲役一年以上三年以下ノ増加四百九十七人 前年ハ千三百八十二人 本年ハ千八百七十九人 懲役五年以上十年以下ノ増加四百七十一人 前年ハ千三百十三人 本年ハ千七百八十四人 懲役終身ノ増加五百四十二人 前年ハ二百九十六人 本年ハ八百三十八人 死刑ノ減少二百四十三人 前年ハ三百七十八人 本年ハ百三十五人 ナリ此ノ如ク差異ヲ生シタルハ即法律ノ改良ニ由ル者ナリ抑死刑ノ減少シテ懲役終身ノ増加セシハ本年三月第二十五號布告ヲ以テ懲役人又犯罪條例強盜律竊盜律偽造寶貨律罪人拒捕律懲役人逃條例ヲ改正シ死ニ入ル者ハ皆懲役終身ト爲スニ因リ又懲役十日以上百日以下ノ減少セシハ本年一月第五號ヲ以テ裁判所ノ呼出ヲ受ケ

律門	年度		増	減
	九	十		
戸婚	一一、五八三	一〇、六九六		一、八八七
賊盜	二四、九五五	二八、三二六	三、三七一	
人命	二、二八七	九八六		一、三〇一
受贓	七二五	五三六		一八九
鬪毆	六六二	二、〇七二		一、四一〇
罵詈	一五七	一九八	四一	
訴訟	九四	八五		九
詐偽	三、五九四	四、八六九	一、二七五	
犯姦	二二三	一五九		六四
雜犯	六四、二四二	四〇、七一五		二三、五二七
捕亡	一、二四〇	三九四		八四六
斷獄	七八	八六	八	
合計	一一〇、八四〇	八九、二二二		二一、七一八

右律門中犯者ノ千人以上ニ及フ罪名ヲ擧クレハ僅カニ十四種ニ過キス第一
賭博 一萬九千百 第二竊盜 一萬七千八百 第三逃亡及他官擅出 三千三百 第四失火
五千六百 第五違令 四千七百 第六違式 四千六百 第七不應爲 三千三百 第八呼出
六千四百 第九詐欺取財 二千二百 第十詐爲私文書 千八百七 第十一兇徒ニ
不參 二十九人 第十二告上不實 千五百六 第十三鬪毆人ヲ傷スル者
附加隨行スル者 千七百九 第十四盜贓典賣 千零 又百人以上千人以下ノ罪名ヲ擧レハ三十
千二百六 第十四盜贓典賣 千零 又百人以上千人以下ノ罪名ヲ擧レハ三十
十七人 第一遺失物ヲ得テ官ニ送ラサル者 八百九 第二官林盜伐 八百四 第三
二種アリ 第一遺失物ヲ得テ官ニ送ラサル者 八百九 第二官林盜伐 八百四 第三
雇人盜 八百三 第四盜犯ヲ私和スル者 六百二 第五常人盜 五百九 第六持兇器強
盜 五百九 第七鬪毆 五百零 第八官林毀伐 四百六 第九枉法不枉法ノ贓ヲ受クル
者 四百十 第十實印ヲ預ケ預ル者 四百三 第十一郷貫氏名ヲ詐稱スル者 三百四
第十二監守盜 三百六 第十三田宅ヲ重典賣スル者 三百五 第十四無代飲食 三百
人 第十五官林誤伐 三百零 第十六變死ニ係ル屍ヲ私擅ニ埋葬スル者 二百九 第
十七詐爲官文書 二百九 第十八毀棄器物 二百四 第十九社寺境内ノ樹木ヲ毀伐
スル者 二百十 第二十費用受寄財産 二百零 第二十一親屬相盜 十八 第二十二財
物ヲ冒認揚帶スル者 八十 第二十三恐喝取財 六十 第二十四詐稱官 七十
第二十五故ラニ墮胎スル者 十八 第二十六官吏ヲ罵ル者 三十 第二十七人ヲ

過失傷スル者^{百四} 第二十八詐稱官求爲スル者^{百三十} 第二十九墮胎ノ技術ヲ
 施シ及紹介スル者^{百二十} 第三十偽造官印^{百二十} 第三十一有夫姦^{百十} 第三十
 二放火^{百零} ナリ又右罪名ノ内東京裁判所ニ多キハ窃盜、逃亡、他管擅出、違令、詐
 欺取財、告上不實、得遺失物、雇人盜、持兇器強盜、監守盜、官林毀伐、田宅重典賣、無代
 飲食、費用受寄財産、有夫姦、熊谷裁判所ニ多キハ賭博放火、失火、違式、社寺境内ノ
 樹木ヲ毀伐スル者、財物ヲ冒認揚帶スル者、大坂裁判所ニ多キハ不應爲、鬪毆人
 ヲ傷スル者、詐爲私文書、盜贓典賣、鬪毆、恐嚇取財、親屬相盜、郷貫氏名ヲ詐稱スル
 者、墮胎及技術ヲ施ス者、人ヲ過失傷スル者、名古屋裁判所ニ多キハ官林盜伐、實
 印ヲ預ケ預ル者、變死ニ係ル屍ヲ私擅ニ埋葬スル者、詐稱官求爲スル者、仙臺裁
 判所ニ多キハ枉法、不枉法、棄毀器物、神戸裁判所ニ多キハ官林誤伐、詐稱官、盜犯
 ヲ私和スル者、高知裁判所ニ多キハ偽造官印、官吏ヲ罵ル者、静岡裁判所ニ多キ
 ハ詐爲官文書、京都裁判所ニ多キハ呼出不參、熊本裁判所ニ多キハ常人盜、水戸
 裁判所ニ多キハ兇徒附加隨行等ナリ其他百人以下ノ罪名ハ凡ソ二百八十種
 アリト雖モ一々對照スルニ違アラス唯各種ノ罪犯ヲ區別シ前年ニ比較シテ
 以テ其増減ヲ示ス左ノ如シ

犯狀區別	年度		九年ヨリ 増減
	九年人員	十年人員	
人ヲ謀故殺ス	六六	八四	一八
祖父母父母ヲ謀故殺ス	五	八	三
子孫ヲ謀故殺ス	四三	四四	一
兄弟姊妹ヲ謀故殺ス	一	二	一
夫ヲ謀故殺ス	二	一	一
妻ヲ謀故殺ス	六	一〇	四
三等親以下ノ尊長ヲ謀故殺ス	〇	四	四
二等親以下ノ卑幼ヲ謀故殺ス	五	五	〇
家長ヲ謀故殺ス	〇	三	三
雇人ヲ謀故殺ス	〇	一	一
合計	一二八	一六二	三五

犯狀區別	年度		九年ヨリ 増減
	九年人員	十年人員	
強盜	五〇七	八四四	三三七
盜ニ因テ姦ス	一	四	三
囚ヲ劫ス	〇	二	二
盜犯ヲ私和ス	九八〇	六二八	三五二
人ヲ畧賣和賣及ヒ其牙保ヲ爲ス	二〇	三五	一五
婦女ヲ清國人ニ賣ル	〇	三	三
妻妾及子孫ヲ畧賣和賣ス	一二	〇	一二
人ノ妻ヲ略シ或ハ和誘ス	二六	二三	三
兇徒聚衆及ヒ附加隨行	一、二四二	一、八四一	五九九
租稅ニ關シ村民ヲ煽動ス	〇	七四	七四
夜故ナク人家ニ入ル	三〇	三三	三

神社ノ御物ヲ盜ム	二八	四二	一四	
竊盜	一五、九七一	一七、九九三	二、〇二二	
監守盜	三二二	四一四	九二	
常人盜	一、八八二	五九七		一、二八五
親屬相盜	一六〇	一八〇	二〇	
雇人盜	六六〇	八三一	一七一	
恐喝取財	一五三	一六六	一三	
詐欺取財	一、八四五	二、七六六	九二一	
衆民ヲ煽動シ牆屋水門ヲ毀損ス	一〇五	〇		一〇五
賊盜律内ノ準盜	二三一	八四五	六一四	
盜贓タルヲ知テ受ケ及ヒ買取シ或ハ典賣ノ牙保ヲ爲ス	七七四	一、〇〇五	二三一	
盜贓ヲ寄藏ス	六	〇		六
合計	二四、九五五	二八、三二六	三、三七一	

犯狀區別	年度		
	九年人員	十年人員	
上ニ告ルニ詐テ實ヲ以テセス	一、二八八	一、五六二	增 二七四
無官ニシテ有官ト詐稱ス	二六五	三一三	增 四八
郷貫氏名ヲ詐稱ス	一八七	三四二	增 一五五
見任官ノ子弟或ハ從者ト詐稱ス	四	二	減 二
人ヲ教誘シテ法ヲ犯サシム	〇	一	減 一
官廳及ヒ餘ノ文書ヲ詐爲ス	一八二	二九三	增 一一一
私ノ文書ヲ詐爲ス	一、四一一	一、八七五	增 四六四
官廳及ヒ餘ノ印ヲ偽造ス	八一	一二四	增 四三
私印ヲ偽造ス	七八	一三六	增 五八
寶貨ヲ偽造ス	八二	一〇九	增 二七
偽造寶貨タルヲ知テ使用ス	六	七三	增 六七
戸長擅ニ人民ノ實印ヲ押シ貢米ヲ私借ス	〇	一	減 一
斛斗及ヒ秤ヲ偽造ス	一〇	三八	增 一八
合計	三、五九四	四、八六九	增 一、二七五

狀犯區別	年度		
	九年人員	十年人員	
公事ヲ囑托スル者	四	〇	減 四
搦撈場ヲ折毀スル者	〇	二	增 二
鴉片烟ヲ吸食スル者	四	八	增 四
財物ヲ賭ケ博戯ヲ爲シ及ヒ賭博ヲ傍觀スル者	一三、三五四	一九、一六一	增 五、八〇七
博具ヲ賣買スル者	三二	七六	增 四四
火ヲ失シテ自己ノ宅舍ヲ燒キ及ヒ他ニ延燒或ハ山林柴草ヲ燒ク者	五、四九二	五、六六四	增 一七二
盜犯火ヲ用ヒ期セスシテ人家ヲ燒ク者	一	五	增 四
火ヲ失シテ人ヲ燒死ニ致ス者	一九	三〇	增 一一
火ヲ放テ公廨民舍ヲ燒キ及ヒ田野墳墓ノ物品ヲ燒ク者	九二	一〇五	增 一三
火ヲ放テ民舍ヲ燒キ未タ燒燬ニ至ラサル者	〇	一六	增 一六
瘋癲ハ火ヲ放テ民舍或ハ自己ノ宅舍ヲ燒ク者	一	二	增 一

火ヲ放テ自己ノ宅舎ヲ燒ク者及ヒ未タ燒燬ニ至ラサル者	〇	三	三	
受寄ノ財産ヲ費用スル者	二一七	二〇九		八
擅ニ寺寶ヲ賣ル者	三	三九	三六	
遺失物ヲ得テ官ニ送ラサル者	四七二	八九九	四二七	
實印ヲ他人ヘ預ケ及ヒ預ル者	〇	四三八	四三八	
石炭坑夫ノ暴動ヲ鎮定スル爲メ發砲及ヒ刃傷或ハ家屋ヲ毀損スル者	〇	六七	六七	
官廳ノ呼出ヲ受ケ遲參不參スル者	二六、三三三	二、八二九		二、三、五〇四
違制	一一	一七	六	
違令	三、三一五	三、二一八		九七
違式	一一、二三九	四、六〇七		六、六三二
不應爲	三、六五三	三、三二〇		二、三、三
合計	六四、二四二	四〇、七一五		二、三、五二七

右表、面謀殺、故殺、強盜、兇徒聚衆、竊盜、詐欺取財、告上不實、詐爲官文書、詐爲私文書、偽造官印、偽造私印、偽造寶貨、賭博、放火、得遺失物、ノ諸罪皆増加セリ而シテ常人盜ノ減シタルハ甚タ怪ムヘシ蓋シ前年ノ表ヲ閱スルニ官林盜伐ヲ見ス而シテ本年ノ表中右犯者八百四十二人アリ僅カニ數月間ニシテ此ノ如キ差異アルノ理ナシ意フニ前年ノ表中官林盜伐ヲ常人盜ニ混同記載シタルモノニアラサル歟又雜犯律中呼出不參違式ノ犯者著シク減少セシハ前文ニ述ルカ如ク本年第五號第十三號布告アルニ因ルナリ

處斷區別 第七表 見合ニ就テ之ヲ視ル片ハ處刑人員ノ減少セシニ拘ハラズ實斷ノ刑ヲ受ケタル人員ハ反テ九千零三十七人ヲ増加セリ〔前年ハ四萬千七百七十四人本年ハ五萬零八百一十一人〕是賊盜詐偽等ノ罪犯其數ヲ加ヘタルニ因ルナリ又贖罪收贖ノ人員二萬七千四百十三人ヲ減少セシハ〔前年ハ五萬四千四百二十三人本年ハ二萬七千零十人〕本年第五號第十三號布告アルニ因ル左ニ此比較表ヲ掲ク